

創立40周年記念誌



養老川板羽目堰（市原市有形民俗文化財）

国際ロータリー第2790地区第3分区B

市原ロータリークラブ

2004年6月

目 次

バナー変遷	2	
八幡、五井、姉崎駅周辺の変遷	5	
40周年記念誌発刊によせて	第40代会長 加藤庄司	6

40年の軌跡

回 想

創立メンバーを囲んで	7	24
PJ 交換プログラム	25	28
若鷲旗争奪中学校剣道大会	29	
市原ロータリー・クラブ年表	30	37
歴代会長幹事	38	41
歴代会長は語る	42	49
創立40周年記念式典		
記念式典プログラム	48	
記念式典挨拶		
会長	加藤庄司	49
実行委員長	酒枝会員	50
来賓挨拶		
2790地区ガバナー	増田 裕様	51
市原市市長	佐久間隆義様	52
千葉ロータリー会長	恩田恭行様	53
PJ・ロータリークラブ会長	Albert Yang	54
記念式典参加者名簿	55	56

記念事業

40周年記念植樹	57		
記念式典スナップ	ニューオオタニ幕張	58－60	
記念講演	パストガバナー	齊藤 博会員	61－64
物故会員			65
40周年記念事業 実行委員会組織			66
編集後記	40周年記念誌委員会		67
会員名簿			

市原市有形民俗文化財・養老川西広板羽目堰

西広板羽目堰は、増水時に堰に掛かる水圧を軽減し、洪水の破壊から堰を守る工夫がなされ「自然に逆らわない、自然に順応する思想を技術化した」農業水利施設で、1881年（明治14年）に渡邊善右衛門により考案され、以来1979年（昭和54年）まで使用されてきました。構造は、木と板を組み合わせた「堰」に水を溜めるものであるが、横栈木（よこさんぎ）と呼ばれる1本の支え木をはずすと、一瞬にして堰が中央から両端に向かって崩壊し、せき止められていた大量の水が激流となって下流に流れ出す仕組みになっている。なお、崩壊した板羽目は全てワイヤーで結ばれていて、崩壊後も簡単に回収できるように工夫されている。農業の灌漑用水堰としては、他に類を見ない優れた構造になっていて、1978年（昭和53年）に市原市有形民俗文化財の指定を、次いで1994年（平成6年）に「美しい日本の村景観コンテスト」で日本一に輝いた。

この優れた事業を保存するための「養老川西広板羽目堰保存会」が結成され、先人の知恵を後世に伝えようと数年に一度、その模様が一般公開されている。

又、地域の景観に合わせた白壁造りの資料保管庫、ならびに管理棟や遊歩道が整備され、散歩や憩いの場として市民に開放されている。市内にはまだ昔ながらの多くの田園風景が残されていて、養老川の水辺の広がりと共に自然豊かな風景となっている。市原市の工業化と都市化が進む中で、これからも大切にしていかなければならないものであります。

（文責：山田守、参考資料：広報いちほら、農業土木学会誌）

バナーの変遷



1964～1980

古城江観氏デザイン



1980～2004

小出善三郎氏デザイン



2004～

左京武允氏デザイン



昭和50年代の五井駅



現在の五井駅付近



昭和50年代の姉ヶ崎駅



現在の姉ヶ崎駅



昭和50年代の八幡宿駅



現在の八幡宿駅

バナーの変遷

第1代作者の言葉

市原市は奈良、平安、鎌倉、吉野朝時代の昔より養老川流域を中心として、姉崎、五井、市原の各地、上総国分寺周り、その他二百数十の古墳があり、其の出土品及び古文書等により絢爛たる文化の華が咲いた時代があったことが立証されている。今は京葉臨海工業地帯の一環としてめざましい発展を遂げつつある。本バナーは後方に科学装置を配して現在を表現し、全体のイメージを前方後円墳を以て過去を表現して図案とした。

チャーターメンバー 古城 江観

明治24年5月鹿児島県生まれ 洋画の黒田清輝に紹介され、
現東京芸術大学 福井江亭に入門 故郷に記念美術館有り 日本美術家連盟会員
市原RC名誉会員
認証場伝達式に使用

第2代作者の言葉

1960年代に、豊かな農林漁業地帯であった市原は、千葉県の臨海工業化埋立計画によって、巨大な生産活動が続ける大工業地帯に変貌し、今や日本を代表する近代工業都市と化した。一方、南部後背地は、養老川を中心に、緑豊かな丘陵地に恵まれて、住宅やレジャーの好適地として急速に発展しつつある。メカニックな新しい工業と、広がる田園地帯の懐かしい風景が、見事に調和しながら新しい「町」が形成されてゆくところに、市原の特色を見出したい。当クラブの元名誉会員、前市長の鈴木禎一氏は、「緑と太陽の町」を、

現名誉会員、市原市長井原恒治氏は、「ふれ合いと安らぎの市原市」を提唱した。

様々な具象の中から、市原のイメージを視覚的に抽出することは、実に困難なことだがあえて挑戦を試みた。

1980年8月デザイン 小出善三郎

市原・市原中央・ロータリー・クラブ特別代表 市原ロータリークラブ第11代会長
元市原市長 市原ロータリー名誉会員

第3代作者の言葉

「波」歴史と文化遺産の豊かさを誇り、且つこの半世紀で産業都市として大きく躍進した市原市。出来るだけこれらの要素をデザインするに当たり、伝承すべきものを探り、且つユニークで創造的な発想をもってこれを形として表現したつもりです。

左京 武允

略歴 中国・青島生まれ s28年東京芸術大学工芸科図案部卒
市原市市制25周年制定の市の木「いちょう」、市の花「コスモス」
市の鳥「うぐいす」のシンボルマーク作成

創立 40 周年記念誌発刊によせて



2003～2004年度
市原ロータリークラブ
会長 加藤 庄司

1964 年 6 月、当クラブ創立から 40 年の歳月が流れてまいりました。その間、歴代会長、会員のロータリーに対する並々ならぬ熱意と行動が、今日 40 周年の記念すべき三つの事業をもたらしております。

一つは上総国分尼寺跡に山桜の植樹であり、
二つには齊藤 博パストガバナーによる「ロータリーのしおり」改訂版発刊であります。
三つ目は諸先輩が積み重ねてきた輝かしい実績を後世に伝えるために、40 周年記念誌を編纂することです。

5 周年、10 周年、20 周年、25 周年、30 周年、35 周年の記念誌や

資料を拝見しますと、その歩みは決して平坦ではありません。山あり、谷ありであります。しかし、ロータリーの思想に裏打ちされた信頼と知恵によって諸問題をクリアーしてきたことがよく理解できます。まさに「温故知新」であります。

資料から「古いことを調べて、そこから新しい知恵や考えを得る」ことは大切なことですが、諸先輩の日常の対話や行動からも得られる「ロータリーの心」はもっと大事なことであり、謙虚に学ばなければならないと、昨今強く思う次第であります。

そして、この記念誌が市原ロータリークラブに真のロータリーの明かりを灯し続ける一端になることを願っております。

それぞれの事業において会員の皆さまには献身的なご奉仕とご苦勞を賜りましたことに心から感謝申し上げまして発刊の言葉といたします。

2004 年 6 月 30 日

回 想

我がクラブではクラブ創立当時の様子やクラブの変遷を知る人は少なくなりました。これは 2001 年 2 月 9 日あねがさきロイヤルホテルにおいて、唯一のチャーターメンバーである酒枝会員を囲む座談会から収録したものです。。

市原ロータリー・クラブの誕生と 40 年の軌跡

[座談会出席者]

酒枝	次郎	会員	1964 年 6 月 入会	1969-70 年	6 代会長
小出善三郎	名誉 会員		1965 年 1 月 入会 1991 年 7 月 市原市長に就任	1974-75 年	11 代会長
齊藤	博	会員	1968 年 1 月 入会	1980-81 年 1987-88 年度 R I 第 2790 地区ガバナー就任	17 代会長
外山	定利	会員	1970 年 3 月 入会	1979-80 年 2003 年 5 月 6 日 ご逝去	16 代会長
三木	敏靖	会員	1973 年 7 月 入会	1986-87 年	23 代会長
司会	小池 清二	会員	1988 年 8 月入会	2000-01 年	37 代会長
記録	白鳥 政孝	会員	1981 年 9 月入会	1992-93 年	29 代会長

[収録日時・場所]

2001 年 2 月 9 日 16:00～18:30 あねがさきロイヤルホテル会議室にて収録

酒枝会員（チャーターメンバー）を囲む座談会

小池 今年、激動の 20 世紀から 21 世紀に入りました。そして市原ロータリー・クラブは市原市の誕生と同じく、クラブ創立 37 年になり、間もなく 38 年目に入ります。

創立 40 周年を間近に控え、チャーターメンバーである酒枝先生を囲み、小出名誉会員（現市原市長）、齊藤会員（パストガバナー）、外山会員、三木会員、記録員として白鳥会員に市原ロータリー・クラブの創立当初から今日に至るまでのお話を伺いたくお集まり頂きました。座談の進行を務めますのでよろしくお願いします。

市原ロータリー・クラブの創立 “官軍が来た”



ロータリー加盟認証伝達式風景

司会 まず、市原ロータリー・クラブ創設の経緯を酒枝先生からお願いします。

酒枝 市原ロータリー・クラブができたのは、ちょうど町村合併して市原市が誕生したのと同じです。昭和 34 年から 39 年にかけて海辺の埋立て工事が行われ、大企業がどんどん進出し、昭和 35 年には旭硝子が一番先に来ましてね、従業員も多く移住してきました。それで五井、八幡地区は大変活況を呈したので



すが、その反面、従前の住民は急激な変化に何となく戸惑いを感じており、五井のある老人が「また官軍が来た」と言ったのですが、戊辰戦争の時に官軍が攻めてきたのと同じ感覚を抱いたのでしょうか。大変ドッキリした覚えがあります。急激な工業化、急激な都市化がこの地にドット押寄せてきました。

そこで何とかしなければならぬと思いましてね。ざわざわと落ち着かないままに、この市原の文化が無くなってしまう不安に駆られて、キリスト教の牧師さんである石丸さんと一緒になり、昭和 37、38 年ごろ「急激な都市化・工業化に伴う新しい市民の考え方、在り方について」のシンポジウムを何回か行いました。

そんな所へ 37 年の終り頃ロータリー・クラブを創ろうという話がどこからとなく起こりました。私は中枢にいたのではありませんが、38 年になり、ある人から誘われ、寒い日に五井の白山閣に集まりましてね。何回も会合を重ねて 39 年 6 月の創立総会へと持込んだのです。既に亡くなられた石福さん、川上さんも一緒でした。ロータリー・クラブを創るのに私自身が心を動かされたのは、急激な都市化、工業化に対して、何か市民全般で持ち得るような共通の価値観を探す一つの場というか、機会というものを求めていたからです。その当時、私が探し求めていたものとロータリーの資質がちょうど合っていたということでしょうか。

小出 今、酒枝先生が昭和 38 年とおっしゃいましたが、市制が敷かれたのが昭和 38 年 5 月で、五井、姉崎、八幡、三和、志津の 5 町が合併して市原市となったのです。その後 4 年を経て、昭和 42 年に南総と加茂が加わり、いわゆる 7 ヶ町村が一体化して現在の市原市となりました。昭和 38 年というロータリーの創立年次と市原市の誕生年次は一緒です。

一番先に進出した企業は、戦時中に埋立てをしてあった五井地区の旭硝子です。続いて八幡地区の企業、五井地区の企業と続き、姉崎地区に出光興産千葉製油所が進出して稼動を始めたのが昭和 39 年ですね。

三木 最初に出てきた旭硝子は私の家を寮に使いましてね、その後を出光興産が使いました。

小出 だから三木寮は市原への工場進出の発祥の地でありました。

外山 大体所長、工場長が使っていたようですね。

齊藤 私は父親が心筋梗塞で倒れたので昭和 35 年に帰ってきました。その当時の市原のことについてはあまり良く知りません。8 月に開業したのですが、工場が出来たために産業労災の患者がよく来ました。苛性ソーダの扱いが悪く、それが目に入った患者が来たりしましてね。市原もすごい所になってきたなと思いました。

司会 市原市が企業の進出に伴う急激な都市化の中で、市原ロータリー・クラブは発足したのですが、編入地区が第 358 地区になっています。今の 2790 地区とは桁数も違いますが、当時の地区の事柄について酒枝先生に伺いたいと思います。

第 358 地区に編入

酒枝 当時の 358 地区というのは東京、神奈川、埼玉、千葉、沖縄です。沖縄はクラブが五つしかありませんでした。

司会 そうすると 357 地区と言いますと。

酒枝 1967 年になると、この中から東京、神奈川、沖縄がはずれ、千葉と埼玉だけで 357 地区となったのです。

司会 それでは千葉県だけが一地区になったのは何時からですか。

酒枝 藤代善次郎ガバナー（1973—74）の時に 349 地区となり、千葉県だけの地区となりま

した。1976 年に R I は改組して 279 地区となり、さらに 1991 年に 4 桁の 2790 地区と変わって現在に至っています。

元来ロータリーの地区割というのは、地球を経度で縦割りにして決めたものです。それで日本もオーストラリアも一つの縦割りの中に入ってしまう、最初は第 6 地区となっていたのです。50 年前の 1951 年 5 月 18 日に誕生した千葉クラブは、それで第 6 地区に編入していました。沖縄が同一地区であったのはその名残ですよ。

三木 あんな遠い沖縄がなぜ入っていたのか良く分かりました。今でも東京はサイパンを受け持っていますね。

創立時のエピソード



加盟伝達式風景

司会 それでは市原ロータリー・クラブの創立当時の思い出やエピソードを話して下さい。

酒枝 市原ではライオンズ・クラブが先にできて華々しく活動していたので、ロータリーの方は少々焦り気味でありましたね。

進出企業の所長、工場長が沢山会員になりましたが、宮吉さん、浜田さん、小倉さんという土地の人達が主役になって、ロータリーがこの地に創られた事を忘れないで欲しい。進出企業の方は創立そのものにあまりコミットしておりません。

市原のオリジナルなロータリー・クラブを立ち上げたのは土地の人たちでした。

司会 千葉クラブからの熱心な指導があったのですか。

酒枝 大変熱心に来ましたね。千葉クラブの本部さんが特別代表として来られ、手取り足取りの指導を受けました。最初は千葉相互銀行五井支店で例会を行いましてね。千葉クラブに石福さんの岳父にあたる齋藤 武さんが居りまして、この方がライオンズの拡大に刺激を受けて、市原にロータリーを持込んだと言われていますが、その齋藤さんが例会に毎回ゲストとして訪れては、熱心に、厳しく私たちを指導しました。357地区になると小出さんも、齋藤先生も会員になっていたと思いますが、出席は100%でした。休んだら出席やメイクアップの要請の葉書がガンガンくる。非常に厳しいものでした。

司会 この会誌の中に例会日が木曜日とか火曜日になっています。今は水曜日ですが、地区が変わると例会の曜日も変わるのでしょうか。

酒枝 これは市原クラブの都合だけで変えるわけにはいきません。メイクアップの都合があるから、近隣クラブの例会曜日と照らし合わせて決めなければならないからね。その結果、水曜日に決まったのです。

当時はクラブがあまりないので、メイクアップをするには船橋、成田、八日市場の方まで行かなければなりませんでした。

司会 会誌にロータリアンはエイリアンじゃないかを書いてありますが。

酒枝 まるっきり市原に似つかわしくない人が来て、言葉はやたらと英語が多く、外国から来たのではないかと思われていたからです。みんな偉い人ですよ。永沼政久さん、神守源一郎さん、竹田恒徳さん、松方三郎さん、皇族、公爵、横浜の貿易商という錚々たる人達で、われわれと違う、まさにエイリアンそのものでしたね。

2年目にして会員数 50 名になる

司会 会員数が2年目に43人から50人と

膨れていますが、この会員構成は、進出企業の方が多かったからですか。

酒枝 そうです。多いときは半分ぐらい居ました。企業側としてはロータリーに入って積極的に地元の人との融和を図ろうという狙いがありました。例えば、実現しなかった、のですが、宇部興産の清水さん（後に社長となる）が、ロータリーを通じて市原市に公園を作り、白鳥の寄贈を申しでしたり、出光興産が姉崎地区との共存共栄をはかられたように、ロータリーを利用したこともあります。しかし、お互いの話合いの場としてロータリーは格好の場所だったでしょうね。

3回目か4回目の例会の時に面白い話があります。五井の関さんが、「停電して困る。隣の電気は点いているが、俺のところは電気が点かない」と、半ば怒りながらも、「配電会社が昔の継ぎ足し配線のままにしているから、五井では、まだらな停電が度々起きている」と皆で笑いながら話していたのです。それを東京電力の今村さんが聞いていたのでしょう、次の例会の時までに、配電会社は五井の配線を全部変えてしまい停電を無くしてしまいました。

今村さんは傍で話を聞いていただけなのに、その苦情を即取り上げて直してしまいました。その時これがロータリーだなという感じがしましたね。

三木 凄い力ですね。

やっと出来たクラブ定款・細則

司会 1971-72 年度川上先生が会長で齋藤先生が幹事の時ですが、クラブ定款・細則作成とありますが、発足当時に定款・細則はなかったのですか。

齋藤 定款・細則がなければならぬと聞いて調べたのですが、クラブには全くありませんでした。川上先生に相談したら、仲良しクラブだから要らないよということでしたが、私は千葉から資料を集めて初めて作りました。

それで一項目ごとに会員に問いながらやったところ、みんな飽きてしまい、一任されてしまいました。そんなことで最初の市原ロータリー・クラブの定款・細則は私がものにしましたことになります。

小出 このところは川上先生と齊藤先生との違いの際立ったところの話ですね。

酒枝 最初の内は、定款・細則も国際ロータリーのそれを手探りで読んでいました。ここで初めて市原クラブ独自の着物を作ったわけですね。どこにも必ず手続要覧マンというのがいましてね、市原では浜田さんがよく読まれて、一つひとつ指導されていました。

インターアクト・クラブ誕生

司会 創立5年目にして早くもインターアクト・クラブを京葉高校に結成していますが、その当時のクラブは、ロータリーの奉仕活動に相当意欲を持っていましたね。今でも京葉高校のインターアクト・クラブは継承していますが、少々重荷になっています。

酒枝 インターアクト・クラブについては良く知らないが、20周年記念誌のインターアクト委員会報告に詳しく載っていますね。

外山 インターアクト・クラブを作った動機については分かりませんが、私が委員長の時低調になり、クラブ員がたった1人になってしまいました。そこで京葉高校に出向き校長にメンバーを増やすことをお願いした覚えがあります。

小出 外山さんが委員長の時は、既に5年ぐらい活動していました。インターアクトが出来たのはもっと前で小倉さんが会長の時ですよ。これは強引に作りしましたね。

市原ロータリー・クラブの成長 浜田金平さんの教育

司会 例会の始まりに会長挨拶を入れたのは、酒枝先生が会長の頃ということですが、そ

の辺りの経緯をお願いします。

齊藤 これはね、短い挨拶は前からしていましたが、今みたいな纏まったことは言いませんでした。その頃のロータリーは厳しく「ロータリーに通曉する方法」というテキストが配られ、浜田さんが担当でした。入会間もない会員が集められ、例会終了後10分ぐらいテキストを読まされました。忙しい最中にやられたものですから閉口しました。

私の推薦者である酒枝先生に楯突く訳にも行かないので出席していましたが、それは、それは熱心なロータリー情報の徹底でした。私のロータリーの探求はここから始まったのです。だからその時のテキストを大事にとってあるのです。これがその本です。

29ページの冊子ですが、165項目あり、ロータリーの本質を良く捉えています。

三木 貴重な文献ですね。

齊藤 それと出席は厳しかった。後に宇部興産の社長になった清水さんが出席委員長の時、出欠を全部グラフにして壁に張り出し、毎回叱咤激励して会員の士気を鼓舞していました。皆一生懸命に出席して大変アカデミックな感じがしましたね。

その頃古城江観さんがクラブの名誉会員になっていました。

この冊子の内容ですが、断片的に書いてあり、ロータリーの思想的なことは少しも書いてないのです。ロータリーとは何をするとところなのかと疑問を抱き、いろいろ探しまくったらロータリーの思想的なことを書いてある本に出会って、フレデリック・シェルドンと言う人がいることを発見しました。

小出 浜田金平さんが小冊子にしたのかも知れない。

齊藤 手続的なことは記されているが、思想的な背景にまでは至っていませんでした。

司会 当時のロータリー情報というと手続きの説明であったのですか。



齊藤 そうです。こういうテキストで一つひとつ説明して頂きました。出席とはこうしなければならぬとか、例会とはこういうためにやるのだというようにね。

小出 私が印象的だったのは、浜田さんがロータリー情報をやっておられたのですが、ロータリー手帳に載っているページ毎のロータリー情報を毎回取上げてやるので、否が応でも覚える。効果的でしたよ。

司会 ロータリーソングはありましたか。

酒枝 もちろんありました。今よりのびのびしていて自由でしたね。流行歌を歌ったりしました。青山ガバナーの時、分区代理として各クラブと一緒に廻りましたが、木更津ロータリー・クラブでは青山さんが殿様だということで、当時流行の「私の城下町」を歌いましたよ。

親睦の活発がクラブの活性を促す

司会 当時企業の所長クラスと地元のロータリアンとの交流は上手くいっていましたか。

小出 大変上手くいって、中には上手く行き過ぎてしまい、銀座辺りで轟沈したりしてね。

齊藤 そのきっかけは各委員会活動でした。私は入会してから親睦委員会に所属させられ、入会間もなくして5周年を迎えることになりました。そこで親睦委員会が開かれ、暮れにはストリッパーを呼び、正月には花柳啓之氏とその社中を招くことになり、金屏風は大成建設が用意し、連絡しておくから衣装を松竹の衣裳部屋に取りに行ってくれとか、それぞれの人脈を利用したものです。終わってからのご苦労様会は、まことにコミュニケーションの行き届いたものがありましたね。

委員会活動は非常に活発でしたし、双方の交流は効果的でした。見ず知らずの進出会社の人と仲良くなり、転勤なさるときは、また送別会などしましたね。

司会 ロータリーは親睦からというのが、良くわかります。

酒枝 親睦も大切ですね。齊藤先生の入会の紹介は私ですが、齊藤先生のお父さんはライオンズ・クラブで大変活躍されていましてね、このままだとライオンズに取られると思い、嫌がるのを無理やりロータリーに入れたのです。本人は嫌だ、嫌だと言っていたのが、こんなにも偉くなってしまった。

司会 当時ライオンズとロータリーとで競合がありましたか。

ライオンズが先に誕生した

酒枝 ライオンズの場合、発生の仕方がロータリーと一寸違います。企業は、所長がロータリーに入り、次長がライオンズに入っていました。五井の医者を中心にライオンズの方が先に結成しましたね。

小出 私は、姉崎で開業していた齊藤先生のお父さんからライオンズを作るからと入会を勧められましてね。何の気なしにライオンズの例会に出たら、そこからライオンズのチャーターナイトの準備が始まり、チャーターナイトの手伝いをして、ライオンズを1年ぐらいいやりました。商売上の関係でキッコーマンの茂木佐平治（PG）さんと会うことが多く、茂木さんからロータリーを強く勧められていましてね。ライオンズをなんとなく辞めてしまい、1年ぐらい置いて、隣の伊藤荒男さんがロータリーの幹事をしていたので勧められるままにロータリーに入りました。私がライオンズに籍があった事を知っている人は殆どいませんね。夜の例会で月2回ですが、出席などは厳しくなく、会費さえ納めていれば良かった。



酒枝 ロータリーは29人で創立総会を行いました。次の例会にはパッと50何人かの会員になっていましたから、きっと入会者がそれまでに決まっていたと思います。

動きだした市原ロータリー・クラブ

司会 創立後 10 年間ぐらゐは活発な活動していますが、当時のクラブ内はどんな雰囲気であったでしょうか。5 周年記念行事が終り、親睦を活発にしてからクラブが活性化したと、齊藤先生が述べておりますが、その頃のクラブの奉仕活動を語ってください。

齊藤 そうですね。最初の 5 年間ぐらゐはお互い袴を着ていましたね。5 年も経つと打ち解けて、クラブ内は固まり、外へと目が向いて来たのでしょうか。その頃中学校の弁論大会に寄付したというのは、中学生や高校生にロータリーの存在感をアピールしようとしたからだと思います。インターアクト・クラブ結成の前触れです。

司会 5 年目に IGF をホストしていますが、これは今の IM のことですね。

小出 そうです。この時のテーマは覚えていませんが、埼玉県と千葉県が一緒ですから、今の地区の分区単位と一寸レベルが違います。だから IGF のホストを務めることは大変な名誉でした。出光会館でやりましたが、資料がありませんね。

齊藤 例会場がロイヤルホテルに移ってからの資料は残っています。

外山 そうですが、認証状を探すのに苦労しました。やっとの思いで見つけましたが、シミだらけで弱りました。例会場が、旭硝子や出光興産、それから五井へとあちこちと移動したので、その前の資料が殆ど残っていません。

司会 今、ロイヤルホテルの一室を借りて現在ある資料を整理して保存してあります。出光会館での 5 周年記念祝賀会はどんなことをしたのですか。

酒枝 たいしたことはやっていません。ガバナーを呼んで挨拶をして頂き、後は市原の祭囃子の中で代表的な大塚ばやしを披露したぐらい

です。

司会 この時会員数は 57 名になっており、クラブ活動も活動的であったと思います。SKD を呼んだのは何周年の時ですか。

齊藤 SKD を呼んだのは 10 周年の時ですよ。5 周年の時は誰を記念講演に呼んだか記憶にないね。

酒枝分区代理誕生と田舎クラブ

司会 1971～72 年度に酒枝先生が分区代理を務めていますね。この時は埼玉と千葉が一緒になっています。

酒枝 そうです。この年、私は落馬で骨折して入院していましたね。それでも森田勝彦パスト・ガバナーを囲んだ会長・幹事会を開催しましたよ。その時、川上先生がオープンシャツでやって来ましてね。森田さんがそれを見て、なぜネクタイを着用しないのかと言う様なことがあって、川上さんが「暑いから」と言ったら、森田さんが「田舎のクラブだから良いでしょう」と言ったことに、川上さんはえらく怒っていました。

齊藤 京成ホテルで会合があった時にね、川上さん、河合弘海さん、私が半袖で出席したのですが、行ってみたらクーラーの効いている部屋でみんな衣冠束帯している。そこへ市原の 3 人だけが半袖で非常に目立ったわけです。

「市原はそれでよろしいでしょう」と言われ、川上さんが怒った。河合弘海はもっと怒った。帰りに滅茶苦茶に酔っ払って帰ってきたことがありましたね。これが市原のクラブは田舎のクラブと言われた所以です。

三木 71—72 年度は市原にとっては記念すべき年度になりましたね。

酒枝 千葉から木更津までが第 3 分区でね。8 月に骨折したけど、青山ガバナーと分区内をけっこう訪問しました。この頃のガバナー訪問は、ガバナーがうるさくて軍隊の査閲みたいなのところがありました。ガバナーによって出席が

うるさいという癖があり、事前に各クラブに行き予行練習やるのが分区代理の仕事でした。青山さんの拡大方針で君津クラブができ、設立準備のため何回か君津に行きました。君津クラブの特別代表は木更津の鈴木さんでしたが、分区代理はガバナーの名代として君津に何回も行きましたね。

SKD ダンサー大挙やって来る

司会 その2年後に10周年記念行事が出光会館で行われましたが、SKDのダンサーを大勢呼んでいますね。

小出 SKDのレビューばかりでなく、将棋の大山名人をゲストスピーカーとして来て頂きました。それは素晴らしい講演で印象に残っています。

齊藤 69～70年度のことで話しておきたいことがあります。クラブ会員の構成の半分が進出企業の所長で半分が地元の人ですから、所長に次ぎの会長をお願いしようとしても転勤してしまうことがある。そこで、この年度に副会長を2名制にしたのです。だから企業側からクラブ会長になったのは極東石油の河合弘海さんだけです。

その後、副会長2人制は1977～78年度菊地会長の時に副会長をまた一人制に戻しました。この頃三木さんは入会していましたね。

三木 そうです。1973年ですから河合さんの年度に入会しました。個人的な思い出ですが、入会したら生涯の事業展開を10～20分喋らなくてはならないと、ある人から言われてやりましたが、後の祭りで大汗と一緒に大恥をかきました。その後の新会員の挨拶は適当に2～3分で済ましているところみると、ロータリアンでもブラフ（ハッタリ）をかける人もいるものとよく分かりました。

PJ.RCと姉妹関係を結ぶ

司会 次の1974～75年小出さんの年度にマレーシアのペタリングジャヤ・ロータリー・クラブと姉妹提携を結びました。

小出 25周年記念誌の21ページに載せてありますが、会長になった時、最初何処か国外のロータリー・クラブと姉妹関係を結びたいと思い、いろいろな方に相談をしたのですが、全面的な賛同を得られませんでした。「外へ気を遣うより、クラブ内をもっとちゃんとすべきだ」と川上先生から噛み付かれた記憶があります。

それで、東南アジアに何回も行っている石丸さんが、シンガポールの知人にいろいろ尋ねてくれましたね。「マレーシアは政情が非常に安定しているから、姉妹関係を結ぶ対象としては良いでしょう」ということで、現地に荒井太郎さん、外山定利さん、三木敏靖さん、石丸 實さん、稲毛正一さんと6人で行くことになりました。

出発前、酒枝先生からマレーシアのロータリアンは象に乗って例会にやって来るからと言われて驚き、怖気ついていましたが、行ってみたら何てことない、皆さんご存知の通りの人達で、良かったなあと思いましたよ。

三木 私は何度かペタリングジャヤに行っていますが、当時、まだ日本には無かった自動車電話を使って、日本に直に通話してくれましてね、料金はと言ったら「ノー・プロブレム」と言われちゃった。それだけ電子機器の利用が進んでいましたね。



小出 そうですね。よく東南アジアのことを発展途上国と表現しますが、少なくともクアラルンプールやペタリングジャヤについては日本より進んでいる部分も沢山ありました。

司会 小出さんは会長になった時、姉妹クラブを作る強い意志があったのですね。

小出 会長就任の挨拶の中で、国外に姉妹クラブを提携したいと表明しました。それもアメリカや台湾やフィリピンのクラブと提携してい

るクラブが多いので、それ以外の東南アジアの国と提携しようと思い、早急に実行に移ってしまい、それでクラブ内に賛否を巡ってだいぶ騒ぎが起きましたね。だからこの提携への動きは強引にしましたよ。

ペタリングジャヤとの子供の交換は、私の代ではありません。ずっと後です。当初は子供たちの絵の交換をしようとか、両クラブ間の往来はあまり出来ないけれど、訪れた時は歓迎し合うという程度の交流を考えていました。その後、子供の交換が突然決められて困った思いがありました。

三木 高校生の交換については小出さんも私も乗気でなかったですね。理事会の決議がないまま交換学生の事業が始まってしまいました。

小出 石丸さんは、私にペタリングジャヤを勧めた理由として東京に対する市原と、クアラルンプールに対するペタリングジャヤは同じような状況下にあるからということを強調していましたね。

齊藤 双方とも新興の工業都市ですからと石丸先生もよく話していました。

小出 日本の企業が沢山進出していて、現地のクラブに日本人の会員がいましたよ。

外山 向こうのロータリアンは偉い上流階級の人達でね、開発途上国の上流階級というのは本当に超上流でしたよ。

三木 大蔵事務次官とか、新聞社で言うと日本の朝日・読売のクラス（いわゆる大新聞）の編集長ですね。私は3回行きましたが、ブローケン・イングリッシュで外人と話した経験はそれしかありません。いい思い出です。交換学生で行った子も、往きは学生服ですが、帰りは自由な服装で成田に到着するので、一回りも大きくなり、自信を付けてきたなーという感じがしました。しかし最近では少し重荷になってきましたね。

小出 今は通信手段が沢山ありますが、当時は、電話があったのですが、話が出来ないから全部手紙で遣り取りをしていました。

酒枝先生レントゲン車をフィリピンへ

司会 次の年（1975～76）酒枝先生がレントゲン車をフィリピンに贈呈していますね。

酒枝 フィリピンは、結核が多いところで、レントゲンを撮ることがなかなか出来ないというのを聞きましてね。庭にあった中古のレントゲン車の中の機器を新しくして、車はダイハツでしたが、ダイハツが徹底的に修理してくれました。随分皆さんサービスしてくれました。かえって、私はいろいろと人の善意というものを、その時勉強させていただきました。

寄付すると言っても、車の輸送には運賃が掛かります。そこで船会社と折衝しましてね。東京からフィリピンに空荷で回航する船便がタダでいいということになりました。しかし、手続きが面倒なので、当時参議院議員だった菅野先生に相談しましたところ、通産省のお役人は嫌がったのですが、先生の力で全部タダになってしまいました。

そこで、現地からレントゲン撮影が上手いかなんと言うので、石丸先生と齊藤先生と連立って一緒にフィリピンに行きましてね、私たちが懸命にレントゲン撮影をしているのに、齊藤先生はヤシの木陰で昼寝をしていましたよ。

三木 フィリピンはどこですか。

酒枝 バターン半島です。

三木 死の行進が行われた所ですね。

齊藤 そうです。そののエストレラと言う牧師さんを介してレントゲン車を贈ったので、その方の近くのホテルに滞在するつもりだったのですが、ホテルの部屋はヤモリがその辺を歩き廻っているの、牧師さんの家に泊めてもらいました。その奥さんが一生懸命になって食事を作ってくれてね。

ところが、その奥さんのお父さんがバターン半島の死の行進をさせられて、住民が水を差し出そうとしたら、日本の兵隊に手を叩かれてしまった。それを恨みに思っていてね、あなたた

ちは良いけれど、日本は嫌いだと言われました。

その後、奥さんが病気になって日本の医療を受けに来て、酒枝先生のところ入院しましてね、私の家にも来て歓迎しましたから、私たちには良い印象を持っていたと思います。

泣く泣く分区代理に

司会 1976～77 年に小出さんが分区代理になっていますが、20 年誌を見ると就任の裏話が載っています。

小出 強引に押し付けられましてね。会長を終えてホッとしていた所、翌々年度の分区代理だから、すぐこの分区代理の役が廻ってきたのです。あっちこっち廻って最後は「小出しかいねーな」と言われ、それで受けたのですが、かなり強引でしたよ。赤木ガバナーの時です。

ちょうど 279 地区になった時だから酒枝先生より分区の区域は縮小して、千葉 4 クラブと市原 1 クラブの合計 5 クラブでした。

分区代理の仕事といえばガバナーの公式訪問に立ち会うことでしたが、年が年（46 歳）でしたから、千葉には先輩が多く、精神的にまいりましたね。今度の分区代理ってどんな奴だと言うような顔をして、いろいろ聞かれましたよ。

三木 あの頃 46 歳の分区代理といったら、ビビッテあたりまえですよ。そうでなくても各クラブの役員は 50 歳以上ですからね。

司会 分区代理のローテーションということはなかったですか。まだ千葉の人は市原の人を田舎者と見ていたと言いますが。

小出 若干あったでしょうね。分区代理のはっきりしたローテーションはなかったと思います。

赤木ガバナーは相当高齢な方で、挨拶の中で「死ぬ気でやります」と言ったので皆が笑ってしまうほどの高齢でありましたからね。習志野クラブの田中さんの代わりに突然押付けられたから、赤木さんも大変だったと思います。

司会 1976 年に二回目のペタリングジャヤ

を訪問していますね。

三木 ミスター盆栽の荒井さん、切替尊文さん、麻薙さん、石川（会長）さんと私の 5 人でした。私の他は全部亡くなりました。

この時も P J ロータリアンにマレーシアの運輸次官の人がいてね、空港の税関なんかフリーパスでした。

司会 1977～78 年にペタリングジャヤから第 1 回目の訪問を受けていますね。また例会の運営形式がいまのスタイルになったということですが、どういうことですか。

ロータリー情報の徹底

齊藤 菊地光明さんの時です。この方は几帳面な方で、この方の特徴は 5 分間スピーチでした。ロータリー情報を徹底するために、ロータリーの仕組みを表にして黒板に貼り出し、ロータリー情報を説明していました。

元参謀の軍人さんでしたからね、いまのクラブ活動計画書の原形を作られました。厳しかったけれどきちんとしていました。

司会 例会を会長が司会進行をして一切を仕切っていたのが、ある時から S A A が例会の司会をするようになりましたね。

外山 寺嶋さんが会長になった時からですよ。

酒枝 この年度に私は地区米山委員長をやっていました。

司会 ロータリー 75 周年の年度に齊藤先生が会長をされていますね。

齊藤 そうです。ロータリー 75 周年を記念して警察と相談しながら交通標識塔を建立しました。設置場所でもめましてね、紆余曲折の末、いまの市民会館の駐車場の一角に建てました。山田さんがデザインして、時田さんに御祓いをしていただき、盛大な除幕式を行いました。今アフターケアがされていないので、あれを見るたびに心が痛みます。

司会 この年度に小出会員によって新バナ

ーがデザインされたとありますが、旧バナーもあったと言うことですね。

小出 最初のバナーは古城江観先生のデザインによるものです。発足当時に出来ていました。その後、市原も様子がだいぶ変わってきたので、新しくデザインしたということです。

司会 齊藤先生、この頃地区委員になられていますね。

齊藤 いや、その前にやりました。最初ロータリー財団委員を3年やり、次に職業奉仕委員をしましたが、会長をする前にやったものだから先輩に叱られてね。

酒枝 この頃からこの人はロータリーについてうるさくなってきましたよ。

齊藤 博 会員 分区代理に

司会 1983-84 年度齊藤先生が分区代理になりましたが、その頃の様子どんなですか。

齊藤 この時でも市原は田舎者と見られていました。千葉の連中は市原を一寸下に見ていたの、市原から分区代理が出るということに不安があったのではないのでしょうか。千葉には5クラブの合同事務所があって、そこに事務の女性がズラッと机を並べていてね。そこに挨拶に行ったら事務の女性が、どんな山猿が来たのかというような顔をしてジロッと見られるので、ビビっちゃいましたね。嫌なところだなあと思いましたよ。

その時は分区で何かをやらなければと思い、事前に会長・幹事を集めて提案したところ、皆な賛成してくれましてね、どんな内容か忘れてしまいましたが、そこで新しいプログラムを作った覚えがあります。

仕事を始めてからは皆さんのつくってくださってね、会長・幹事は真摯な態度で参加してくれました。

小原さんがガバナー（1983-84 年）でね、大分可愛がられました。

三木 東大出の立派な弁護士さんでした。地

区協議会で二つの予算案が出たとき「こんなことやってられない」と言って席を立ち、退場してしまったことをはっきり覚えています。

華やかな20周年記念式典

司会 この時にクラブは創立20周年を迎えましたが、記念事業として市原市に交通安全広報車を一台寄贈しています。

三木 この20周年記念式典と祝賀会を出光会館で行い、アトラクションに“S.K.D 東京踊りザ・レビュー‘84”を公演しましてね。大変好評を博しました。あの時のボレロにのったダンスは良かった。今でも目に焼き付いています。

ペタリングジャヤ・ロータリー・クラブからも大勢のロータリアンとその家族が見えて、国際色豊かな華やかな祝賀会になりました。

酒枝 これで齊藤分区代理の株が大分上がったんじゃないの。

司会 1983年6月に海上先生（当時会長）を団長に三木敏靖さん、上條優雄さんを副団長にして入会間もない菊池脩祐さん、鈴木宏裕さん、浅野薫之さん、白鳥政孝さんたちが第3回ペタリングジャヤ・ロータリー・クラブ訪問をしています。この時に両クラブ相互の交換学生の実施が決定していますね。



三木 それが先ほど話しましたが、理事会の決議を経ていないまま現地で決まってしまったのです。既に10回も高校生をマレーシアに派遣していますし、受け入れと合わせると20回（20年間）に及んでいます。

PJ.市原短期学生交換始まる

白鳥 入会して3年目に、インターアクト委員長としてPJの学生を受け入れる仕事をさせられて、とまどった覚えがあります。この時が第1回で何もかもが初めてなので、地区青少年

交換の規則を参考にしながら、P J 側と学生交換の条件の設定を何回もの手紙の遣り取りしながら決めました。その時、極東石油の阿部総務課長には大部お世話になりました。

それで滞在期間は1ヶ月で、しかも正月をはさんでいました。

来日した5人の学生のうち2人の男子の受入れ先が、来日直前まで決まりませんでした。結局、男子



2人一组となり夏井さん、周郷さん、海上さんにホームステイを受けて頂き、そこに順に落ちていてホットしました。皆さんの協力で何とかこなしましたが、疲れましたね。

しかし、傍で見るよりクラブの先輩に相談やお願いをしながら、やっている本人にとっては楽しいことの方が多かったです。いろいろな知恵を授かったり、思わぬ協力を受けたり、また大企業の持っている力を十分に利用させて頂いたりして、ロータリー・クラブの真価を知りました。そして、これを機に一举にクラブに溶け込んでしまいました。私にとっては意義ある貴重で楽しい体験でした。

このときの記録を第一回P J 学生交換行事の報告書として小冊子にまとめ保存してあります。今でもマレーシアの子供（当時）と往来しています。

齊藤ガバナー登場と新クラブ誕生

司会 1987～88年に齊藤先生がガバナーに就任されましたが、いろいろご苦勞もあったのではないのでしょうか。

外山 市原ロータリー・クラブにとっては、大変名誉なことで最大の出来事ではないのでしょうか。

小出 齊藤先生がガバナーノミニーになるときの会長が佐藤勇さんです。佐藤会長と直前会長の大西さんは、齊藤ノミニー誕生に随分骨を折りましたね。

パスト会長が何回も集まっては受けるべきか、

受けざるべきかで議論が沸騰しましてね。齊藤先生が良いとか悪いとかのことではなく、クラブとしてガバナー職の諾否を議論したわけです。

三木 佐藤勇さんはやるべきであると決めていただけない、説得に結構苦勞されていませんか。

司会 なにかの時には、ガバナーを出したという自クラブを誇りに思います。

齊藤 この時にはね。佐川さん（1985～86年度ガバナー）が家に来て、「今度ガバナーをやれ」と言われたけど、「まだ57歳で働き盛りだから、冗談じゃないです。お断りします。クラブの皆さんと相談の上ご返事いたします。」と言うことでお帰り願いました。

その晩、佐川さんと川上先生は従兄弟同士でしたから、大急ぎで川上先生の所へ行きましてね、先生から断って下さいと頼みました。そうしたら川上先生いわく「お前、折角だからやるがいいよ」と逆に勧められてしまいましたね。すぐ酒枝先生を呼べと言うことで酒枝先生を呼びましてね。

酒枝 いや、その前に川上先生から話があって「やらすべー、やらすべー」と言うことになっていましてね。

齊藤 それは知らなかった。それで、その時の会長が佐藤勇さんだから、すぐ佐藤さんにも来てもらいましてね。そしたら佐藤さん「へえー」と言って、その後佐藤さんが、クラブの皆さんに問いかけて下さったのです。

それからが蜂の巣をひっくり返したような騒ぎとなり、総論賛成、各論反対、地区大会をはじめ、なにもかもやらなくてはならないから大変だと言う訳で、侃々諤々クラブ内は大いに沸騰し、佐藤さんはご苦勞なさりましたね。

司会 地区幹事長はどうしたのですか。

齊藤 パスト会長会議を開きましてね、組織のメンバーをどうしようかと話し合ったとき、地区幹事長のことで川上先生が、「ここでやれるのは一人しかいねーな」と言ったら、皆顔を見合わせてから、皆の視線がスーッと小出さんに

向いて決まっちゃいましたね。

地区幹事長が決まってから、それぞれが役割を分担し組織ができると、今度は子クラブを作ろうということになりましたね。

子クラブの誕生

外山 子クラブ作りのことは大変な問題でした。会員が少しも増えないのにどうやって子クラブを作るのかということになりましたね。

齊藤 夏井さんが会長の時で、子クラブを作るか否かのアンケートを二度も三回度も取ったりして苦労しましたね。最後は五井グランドでの会合で子クラブを作ることを決定しました。夏井さんは市原中央ロータリー・クラブ誕生の功労者ですよ。

小出 親クラブから同年代の8人が子クラブに移籍しましてね、この8人がクラブの核として働いて、あっという間に25人の会員（チャーターメンバー）にしてみました。それで出来上がったのが市原中央ロータリー・クラブです。この子クラブの特別代表をやらされました。

（移籍した8人；浅野薫之さん、宮崎 勝さん、鈴木宏祐さん、鈴木雅博さん、佐川皓一さん、時田 轟さん、潤間丈助さん、山口 光さん）1989年6月6日、市原市民会館小ホールにて認証状伝達式を行い、市原中央ロータリー・クラブが誕生しました。親クラブからは新クラブへ準備金として150万円を支出しておりましたが、この時もお祝い金を50万円拠出しています。認証伝達式と同時に市原ロータリー・クラブの25周年式典も同時に行い合同式典となりました。

司会 小出さんは、特別代表を終えてすぐ市長になりましたね。

小出 地区幹事長、特別代表と続けましたから、一年ぐらいいか余裕がなかった。1991年6月に市長になりましたから、平成3年に合同式典を行いましたね。

齊藤 この時、千葉港ロータリー・クラブをスポンサーとして幕張ロータリー・クラブが出来まして、市原中央と二つのクラブがIPPENにできました。この辺りまでは千葉のクラブは順調に発展してきたのですが、この後がいけないようだね。

女性会員入会

司会 92～93年に女性が入会していますが。

白鳥 女性会員については、長老の川上先生が頑固に反対していましたので、前年度から懸案になったままになっていました。周郷さんが、推薦者として一年に亘って入会を推進していましたが、私が会長の時でしたが、1993年の年が明けると直ぐ理事会に女性入会の是非をかけたところ、すんなりOKになってしまいました。この年にクラブ内で特別に検討したことがありませんでしたが、機が熟していたからだと思います。

小出 時田さんのことは、私が市長になってからクラブに推薦の口をきいたように思うね。私は門外漢だけど陰の推薦者になるからと言って佐藤 勇さんに、法人会で知った時田さんにロータリーのことを話したら入りそうだから、正式に推薦者を立ててアプローチをかけるようにと言いました。本人は知っているかどうか知らないが、私が最初だったと思いますよ。

三木 時田さんが入会される一年ぐらい前に、女性会員の入会についてのアンケートが取られましてね。女性会員は時期尚早とか言って、何人かが反対していましたが、幕張ロータリー・クラブに女性が2～3人も入会したニュースが入ったりしているうちに、翌年入会が承認されました。

齊藤 1989年シンガポールでの規定審議会でも女性会員の入会が可決されたから市原は早い方です。

司会 創立30周年記念式典は郡司会長の時に市民会館で行いました。

三木 これはね。市原市に大分お世話になりました。市原市制施行 30 周年記念行事に相乗りしちゃいました。大会委員長は齊藤先生でペタリングジャヤから 37 人ぐらいやって来ました。

市原市が栗原小巻の劇団を呼んで「復活」を上演しましてね、それらに便乗しました。

外山 それに齊藤先生が SKD をよびました。

齊藤 もう SKD ではないです。解散してしまい、その団員であった 春日宏美とプリティ・ガールズ を招いてショウを上演しました。

創立 40 周年を迎えて これからのロータリーを考える

司会 やがて 40 周年を迎えますが、今後のクラブのあり方とか、ロータリーはどのような方向に進むべきかをお話しいします。

小出 昔からそうですが、ライオンズに較べてロータリーは地味です。クラブの趣旨が違うと言えば違うのだが、もう少し地域に PR しても良いのではないのでしょうか。私はロータリーを多くの市民に認知してもらいたいと思って、「市長のめがね」に書きました。

コウ・イン・ペン君のことです。彼はマレーシアの出身で日本に留学生として千葉大に在籍していました。最初はロータリーの米山奨学生でしたが、千葉大を卒業してから日本の企業に就職し、市原市在住の女性と結婚しました。そして現在市原市民になっています。いい機会でしたから、私がロータリーと彼に関与していたことを含めて掲載すれば、ロータリーの活動が相当知られるのではないかと思います。どうでしょうか。京葉新聞の両川さんは自分の新聞を利用してライオンズの広報を頻繁に行なっています。両川さんはライオンズの功労者ですよ。

外山 そうです。京葉新聞にはライオンズのことがよく書かれている。

小出 彼はどこまで目指しているか分からないが、重要なポストをだんだんやりつつあり

ますね。

献血運動に目をつけて熱心にやっています。市原の献血推進委員長は私ですが、それをわきからいろいろ動いてね、市原の献血率の目標を上げるぞと意気込み、ライオンズのメンバーを使ってどんどんやっている。またこういう記事は新聞に載せ易いからね。

ロータリーは地味ですから、余りこのようなことをする必要もないけど、ロータリー活動をもっと地域に知ってもらう事をした方が良いと思います。

齊藤 いいと思いますね。寄付行為ばかりが知られているけれど、献血ではライオンズに大分水をあけられたね。ライオンズの場合は具体的に動くからね。

ロータリー思想を堅持

酒枝 私は、いつも齊藤先生の非常に高邁なロータリーの哲学を聞いて毎回感服していますが、ロータリーの根源はもっと深いところにあると思っています。

フリーメーソンを出してくると皆さん嫌がりますが、どうも人間の起源そのものにロータリーは関係しているのではないかと考えています。ロータリーの嫌いなものはなんだろうと考えると、政治的には専制とかファッショは嫌いで、絶対に相容れない。暴力も嫌いますね。だからロータリーは政治には関与していない。それから宗教的なことでは、非常に宗教に狂信的になることをロータリーでは嫌いますでしょう。キリスト教を例にとればプロテスタントはいいが、カトリックみたいに少し狂信的なものは排除します。宗教心、信仰心は大事だけれど狂信は嫌だというのがロータリーですね。

このようにいろいろ嫌なものをロータリーが否定しているのを見てくると、残るのは民族、宗教を越えた徳目の共通項、自由、博愛、平等という月並みになってしまいましたが、要は明治初年の頃の日本人が心の拠り所に使っていた武士

道のような人間の基本的な哲学がロータリーにあると思います。

私は私なりに、河合栄次郎の言うように、個人の理想主義であると思っています。ロータリーはグループを作っているけれど、団体主義でなく、全体主義でなく、個人主義の個人個人の理想主義の集まりがロータリーであると解釈しています。

各個人が研鑽して磨き上げる人達が集まれば、ロータリーはできる。これは人類ができてから、ずっと将来にも続くものだから、ロータリーは普遍的でなければならない。時代の変遷で着る衣はどんなに変えてもいいが、芯となる中身は変わらないし、変えてはならない。それをロータリーは目指していると思う。

そういう核になるところを確り持っていれば、あとはいかに応用してもいいと思う。したがってロータリーはもう少し政治的に動いていいでしょう。政治に関与していけないと言うが、そんなことは少しも構わない。この前の市長の選挙の時、ロータリーの人が皆集まったけれど、ああゆうことは堂々とやって構わないと思いますね。ロータリーの良心が良いということであれば、やっていいのではないですか。そういうことを表面に見せなくとも、そういうことができる力があるぞということを、ロータリーが持っていれば、ロータリーの社会的な地位も上がるのではないのでしょうか。政治に流されてはいけないが、政治的な思想を持ったって少しも構わないと思いますが、パスト・ガバナーはどう思いますか。

奉仕は春雨のごとく

齊藤 それはそうです。みんな個人的にそれぞれの思想は持ってかまいませんが、その思想を他の人に押付けてはいけません。一人ひとりの理想主義の世界だから、団体奉仕すると個人のパーソナリティが潰されてしまう。団体的に持っていくとロータリーの意義は薄れてきます。

だから、ロータリーの活動は陰徳陽報になる傾向があります。

先輩の言うのには、ロータリーの奉仕の理想は大地を静かに潤す春雨のようなものでなくてはならないと言います。それがロータリーの奉仕の理想の形だと言います。表立ってやるのではなく、窓を開けてみたら、何かがタベ静かに降って、神から恵みを与えられたようないい気持ちにさせる。そういうのがロータリーの奉仕の姿だと言います。

三木 恵みの雨の中で思い出しましたが、この前の齊藤先生のお話の中に、雨のお話がありました。雨が降っている時、狭くて細い路地を人がすれ違うとき、お互い傘をちょっと傾けて「傘をかしげて」すれ違う。それが「ロータリーの心」といった話だったと思います。

齊藤 「傘かしげ」のことだね。

酒枝 地域に密着したロータリーとよく言われているけれど、ロータリーで勉強し、研鑽し、自分の職業を通じて一所懸命に地域に接していれば、それはそれで地域に密着していることになるのです。これだけ人が集まっているのに何かしなければならぬという感じがしますが、やはり個人の理想とするものを地域に反映することでしょうね。

齊藤 今、白井ロータリー・クラブの25周年記念講演の原稿を書いているけれど、シェイクスピアの戯曲「ベニスの商人」の中に「慈悲の心」に触れているところがあるので、それを原稿の一部に取り入れようと思っています。

ご存知のシェイクスピアの『ヴェニスの商人』と題する戯曲がございます。船主アントーニオが友人の頼みでユダヤ人の金貸しシャイロックから、3,000 ダカットの金を借りた。船が難破して金は返済出来ないことになりました。裁判になりヴェニスの法廷の場で『契約どおり人肉1ポンドを・・・』と言うユダヤ人の金貸しシャイロックに対して、男装の麗人ポーシャ姫が『しかしユダヤ人よ。此处で最後に一言言うておく。この悲惨な状態を防ぐ為に、後はユダ

ヤ人の慈悲を待とう』『如何なる理由があつて、私はこの男に慈悲心を施さなければならないのでありましょうか』重ねてポーシャ姫が『ユダヤ人よ、静かに聞きなさい。慈悲心とは何々せねばならぬが故に、相手に対して下しおかれる、そういう概念の心の機能ではない。何人も気が付かないのに、夜降る恵みの雨の如きもの、暖かい雰囲気が路面に漂っている。ああ良かったな—そういう感触を、人生社会に与える精神機能の事を慈悲というのだ。お前は分からないだろうけれど、こういう機能が人類社会にあることを覚えておくように』と論じます。

誰も気が付かないうちに宇宙の絶対者は、我々人類に『人間というものは暖かいものだな—』ということ、自然体の中でお示しになる、これを慈悲と呼び、愛という。ロータリーの思考の中核に、そういうものがあるのだということを我々は否定できない。これが奉仕の考え方あります。で、これはいいと思って原稿に取り入れる積りです。

シェイクスピアは自分の考えを、男装の麗人ポーシャ姫に言わせているのです。「ヴェニスの人」これはいいな—と思い選びました。

三木 齊藤先生の話は心にグッときますね。遊ぶこともいろいろやっているのに、何時そういうものを仕入れているのですか。

齊藤 よく遊び、よく学ぶということだろうね。

三木 先輩の人達は皆そういうことが言えるのですが、ここにいる方は皆さんそうですね。

齊藤 シェイクスピアは宗教を離れた人間性というものをいろいろ研究している。これを見て吃驚しました。

司会 私が会長になる時、齊藤先生に卓話をどのように考えたらいいか聞きましたら、先生の一年間の卓話集をいただきました。それを見て毎週参考にしましたが、いろんな場所やいろんな書物の引用がでてくるのです。そうとう勉強をなさっているのが窺われましたね。私は本

を読むのが苦手なので引用するなんてとてもできない。ただヘーと驚くばかりでした。

齊藤 いや、そんなことございません。ただ、あの時、市原ロータリー・クラブって怖いと思いましたね。「北帰行」の卓話しをした時です。お父さんが満鉄に勤めていてね、本人は大連の高校に在学していたのだが、本屋の娘と映画と一緒に観に行ったのがばれてしまい、大連高校を退学させられてしまいました。それで、満鉄の社員であったお父さんの所へ帰るわけ、北へ帰る。それで「北帰行」と言う歌ができたという話しをした。確か阿部さんと言う人だったと思う。

酒枝 それは旅順高校です。私の高校です。

齊藤 そうしたらね、極東石油の齊藤 信さんが「今日はいい話しを聞かせて頂きました。私も旅順高校の卒業生で、あの男を良く知っていますよ」と言われてね、ギャフンとなったね。「事実と合っていたでしょうか」と聞きましたら、「その通りです」と言ってくれて、ホッとしましたよ。

その後、阿部さんは、旅順高校を辞めてから東京に出て一高に入ったということですが、驚きましたね。うっかりしたことは言えない。あまりリアルな話しはしないようにと思いましたね。

酒枝 今、世間では外務省の機密費が私用に流用されていると話題になっていますが、日露戦争の時には、裏側の諜報活動をしていた明石大佐に物凄い金額の金を政府が渡している。彼はストックホルムでレーニンを捉まえて、その金の中から100万円を渡している。今の金に換算すると億なんてもものじゃない、相当な金額になる。その彼の家が雨漏りしていたので奥さんが家を直そうとしたら、機密費を扱っている人間がそんなことをしては疑われるからと、奥さんを諭したということです。

そういう武士道的な話をロータリーの例会でもどんどんやって欲しいと思います。

今度、市原市の文化振興に役立つ「コミュニティ・フォーラム上総更級会」を立ち上げました。

そこでのシンポジウムに出席してもらいたいと思います。人間社会において一番基本になる道德、徳目を守るべきものがロータリーであると思います。21世紀に入って日本は、道義的に子供たちがこのまま育っていくと滅びると思います。もう一回、明治維新みたいな新しい道德的緊張が必要であります。更級会で取上げるので市長よろしくをお願いします。

外山 倫理の提唱をしなきゃ駄目です。産業道路の中央分離帯の芝生に、誰が持ってきてばら撒いているのかと思うほど空き缶やゴミが捨てられています。

小出 流山の見知らぬ人から、市原市内を走っていたら道路脇にポイ捨てのゴミがあまりにもひどかったのだという手紙を貰いましたね。直ぐに、人並み以上に心掛けていたのですが、ご指摘を受けて恥ずかしいと返事を書いた。そしたら直接返事がきましてね。「返事を貰ってうれしい、市原のような市長が流山にいて欲しい。」と逆に褒められました。房州の帰り路にゴミだらけの中央分離帯を見て、我慢できなかったのでしょうね。

外山 そう、かなりひどいですよ。企業の方が自分の会社の前だけ時々掃除をしていますけど、ひどいものです。

司会 塾に来る子供たちが、私の家の駐車場に、コンビニから買って食べたラーメンのゴミを、いくら注意しても捨てていきますね。ゴミ捨て箱を置いて、ここに入れてくれと言っても、そこに入れない。5〜6人ぐらいかたまって、中学生なのにタバコは吸うし、注意すれば逆に食ってかかる始末。大勢でやれば怖くないという感じですね。

今度、国が社会奉仕を学習に入れるというが、どのような方向付けをするのか気になります。市原でもゴミゼロ運動をやっていますね。

ロータリーの提唱でゴミゼロ運動始まる

三木 ゴミゼロ運動を千葉県の市町村に定

着させたのはロータリーですよ。鈴木憲輔パスト・ガバナーが、豊橋ロータリーでそれらしきことをやっていると聞き及んで、この地区にも広めようと企画しました。そして各市町村に呼びかけ、担当職員と地区内各クラブのロータリアンと一緒に、数回豊橋市の状況を見学に行き、参考にしました。市原からは私が行きました。「ゴミを捨てない心を育てる」をスローガンにして、官民合同のゴミゼロ運動にして今に至っています。

司会 ライオンズ・クラブの人は、ロータリーをどのように見えていますか。

齊藤 別に対抗意識はなく、ロータリーを意識しているようには見えませんね。

ロータリーというのはあまり固い事をしていると魅力がなくなる。肩を怒らせないで、この世のオアシスはこの辺りにあると思えばいい。散策的な気持ちで来て貰うようにしないといけないね。

司会 調和の取れた卓話をといますが。

齊藤 いきなりレベルの高いところへいくと、若い人は息苦しくて入って来なくなってしまう。だけど、あまり緩めてしまって馬鹿なことをやっていると、若い人の中にはロータリーには一体理念があるのかと思うのも出てくる。たまには刺激を与えたり、緩めたりしないと駄目です。この辺りが難しいところです。

司会 難しいところですが、年にどの程度やればいいのでしょうか。

齊藤 年に数回やればいいと思う。一寸深く考えさせる機会を作って、年に何回かレクチャーをしないと、ロータリアン自身が浮ついてくると思います。ロータリーの一体どこに芯があるかを知らせる必要があります。

川上先生はなかなか指導力があるというか、人の話を聞きながら自分の腹の中に一つのものをしまっけて置いて、パッパと分けする男だったね。それは見事なものでした。お坊ちゃんという、だらしないの多いが、あのお坊ちゃんの心には一つの国学の精神が入っていました

ね。

酒枝 川上先生のお父様に点滴をしに家に行った時、お父様の部屋に川上先生は入らないです。敷居の外側に居て、呼ぶまで父親の部屋に入らないです。点滴が済んで、お父さんが呼ぶと入ってきて「お父さんどうでした」と言うわけです。その態度が本当に立派なものでした。たまにお父さんが風呂に入りたいと言うと、自分も素っ裸になって、お父さんを抱っこして一緒に風呂へ入る。偉いですね。そういうことはなかなかできないことです。

こんなこともありました。お父さんが3日ばかり意識がなくなり、最後を看取る枕元に一晩中居たのですが、お父さんはもう意識がないものだと思って、ブランデーを持ってきて飲んでいたら、お父さんがパッと目を開いて「親が死ぬか生きるかの瀬戸際の時に酒を飲む馬鹿がいるか」と言われたそうです。それが最後の言葉だった。「俺はしくじった」と後悔していましたね。

齊藤 結構気にする方だよ。あちこちでパーっとやってくるでしょう。その後で「齊藤、おれはどうだったのかなー、あの時野郎どもはどう思ったのだろう」と聞きましてね。

川上先生の話になってしまいましたが、実に個性豊かな人でした。

ロータリーではそれぞれの持つ個性を発揮し合い、お互い語り合い、お互いの立場を尊重して譲り合い、尊敬し合うことから、いろいろなことを学ぶことが出来るのです。その学び得たものを自己研鑽に、家庭に、職場に、地域において、それぞれが応用実践していくことを私たちは心がけなければなりません。

司会 長時間にわたって市原ロータリー・クラブの発足時から40年の軌跡について、数々のエピソードまじえて、お話をしていただき有難うございました。ロータリーの理解を深めるために先輩は努力を重ねてきたことや、親睦活動に思い切ったことをして市原ロータリー・クラブの存在感をアピールした先輩ロータリアンの心意気に感銘いたしました。

またロータリアンとしての心構えについても示唆していただき、有意義な座談会でございました。私たちは市原ロータリー・クラブの良き伝統を継承し、今後クラブの発展と共に、それぞれの資質の向上に努力する所存でございます。本日はご苦勞様でございました。これからもご指導をお願い申し上げて座談会を終わりにいたします。ありがとうございました。

認証状



国際交流

PJ・ロータリー・クラブとの記録（短期学生交換プログラム）

このプログラムは当クラブにおいて最大の行事となっており実に21年の永きにわたって実行されてきたものである、この間短期交換留学を体験した学生は日本側60名マレーシア側71名と成っています。第一回目の留学生に至っては既に社会人となり中堅として活躍又その後日本の大学に留学良い意味での日本とマレーシアの橋渡しの役目を大いに、になってきた。又同時に家族の相互訪問も何度か行われ、家族ぐるみのお付き合いに発展している例もある。1983年12月以来実施されて以降マレーシアの国際的地位の高揚を含め大分事情は変わってはいるが永年の成果がいずれ華開き価値のあるものになろうと思われる。

短期学生交換

1983年度 第1回 (12/28~1/16)

Mr. Lai Hai Sheong
夏井、周郷、海上宅
Mr. Nicholas Ho Pang Kean
夏井、周郷、海上宅
Miss. Wendy Tang Yoke Chee
菊地、白鳥宅
Miss. Joyce Liew Chooi Foon
菊地、白鳥宅
Miss. Leena Ghosh
小出宅

1984年度 第2回 ()

高梨美喜男 京葉高校顧問
三枝 京子
川口 綾子
小川 美保
中村かおる
富沢 幸恵
夏目久理子

1985年度 第3回 ()

Miss. Leong Mei Ling
菊地、浅野宅
Miss. Chong Nai Wei
菊地、浅野宅
Miss. Cheah Sook Wai
小出宅

Mr. Yue Chi Kin
周郷、佐藤（政）宅
Mr. Shaikh Harun
周郷、佐藤（政）宅
Miss. Ho Onn Na
高梨、夏井、宮吉宅

1986年度 第4回 (8/6~8/20)

内海 宗治
松本 洋親
市村 紀子
高原 由佳
花澤 一美
岡本由紀美
殿岡 悦子（顧問教師）

1987年度 第5回 (12/6~12/20)

Mr. Mohammad Rosli 金光宅
Miss. Tham Wai Yee 夏目宅
Mr. David Oh Kit Yan 小出宅
Mr. Joel Ng 小出宅
Miss. Kavitha Vivekanandan 白鳥宅
Miss. Lim Yean Ling 永井宅
Mr. Chan Kee Whay 三木宅

1988年度 第6回 (8/5~8/18)

會川 正明 (教師)
桜井 都
楠本 のり子
池田 夏子
片山 陽子
大野 勝也

1989年度 第7回 (11/18~12/2)

Miss. Siow Ai Ling 上條宅
Miss. Ho Leng Na 村越宅
Miss. Sharifan Ayeshan Mohd Noori 周郷宅
Miss. Sharan Kuar Gill 周郷宅
Mr. Kantha Rasalingam 村越宅
Miss. Chua Mei Ngee 上條宅
Miss. Lim Siew Ming 宮吉宅

1990年度 第8回 (~8/7)

中山京葉高校顧問
関・伊藤・口元・貴島・枝岸・千葉さん
以上7名を派遣

1991年度 第9回 (11/10~11/24)

Lim Su Jorn 上條宅
Jane Yong Bernice Low 上條宅
Sue Lyu 菊地宅
Teoh Geok Sim 川島宅
Shaunmga Kanesalingam 小池宅
Tay Shan Li 加藤(利)宅
Kelene Toh Su-Ann 始関宅

1992年度 第10回 ()

7名派遣詳細記録無し

1993年度 第11回 (11/15~11/28)

Miss. Teo Gia Min 菊地宅
Mr. Bernard Low Kah Meng 金光宅
Mr. Lim Hwa Hong 始関宅
Mr. Jason Leong Wen Liaang 鶴岡宅

Miss. Azleena Abdul Rahman 寺崎宅
Miss. Teoh Geok Ann 川島宅
Mr. P.A.Kanes Naidn 木嶋義郎氏宅

1994年度 第12回 (7/28~8/11)

山田直子 (団長)
中村悦子
杉田柴織
山内珠美
金光京淑 (副団長)
桜井絵里
平田真紀
引率教師を廃止

1995年度 第13回 (11/10~11/24)

Mr. Mark Lee Kian Meng 南山宅
Mr. Eiswaran Naidu 南山宅
Miss. Joanne Ong Li-Choo 上條宅
川島宅
Miss. Azura Binte Abdul Ruhman 杉田春男氏宅
Mr. Liew Min San 山田宅
Miss. Elane Koh Ee Ling 金光宅
Mr. Teo Jon Tatt 桜井誠治氏宅

1996年度 第14回 (7/29~8/12)

伊藤千春
伊藤絢子
小野雅世
轟紀子
夏井瞳
横山輝男

1997年度 第15回 (1/18~12/1)

Mr. Kenneth Lim Lih Fu 上條宅
Mr. Armand Battchoo Ratial 南山宅
Mr. Goh Meng Yao Douglas 小野宅
Mr. John Kwan Yew Meng 夏井宅
Mr. Cho Chun Neng 藤野宅

MISS. Shamila Juliet John
加藤（利）宅

1998年度 第16回 (8/17~8/26)

花澤太郎（リーダー）
森垣香奈
根本晴美
寫奇翔子
伊藤奈津子
平野真紀
小出明子

1999年度 第17回 (11/20~12/4)

Agnes Yong May Lan 浜田宅
Jacqueline Daisy George 浜田宅
Divya Panicker 加藤庄司宅
Ryan Battchoo Ratilal 南山宅
Ian Koh Tung Yan 西村宅
Sharad Julius John 加藤利夫宅

2000年度 第18回 (8/21~8/30)

テーマを設定 都市美化調査報告書を提出
土岐真弓
花澤史朗
鈴木美香
吉富幸恵
田中亜弥
大場枝里

2001年度 第19回 (11/16~11/26)

Mr. Justin Yong 常泉宅
Mr. Loo Shen Quang 浜田宅
Mr. Cho Chun Leong 小池宅
Miss. Harvin Kaur Sandhu 佐川宅
Mr. Yung Chee Loong 時田宅
Miss. Parvin Kaur Sandhu 大浦宅

2002年度 第20回 (8/19~8/27)

安田美千代
川崎由美
石川由佳子

内藤泰彰
籾谷奈央美

2003年度 第21回 (11/22~12/2)

Miss. Wang Shae Ree 加藤庄司宅
Miss. Loh Yoke Ping 川島宅
Mr. Khoo Chung Hao
内藤泰彰氏（市原中央高校）宅
Mr. Chan Jigheng
吉田優作氏（市原中央高校）宅
Miss. Deepa Sreenivasan 籾谷宅
Miss. Natasha Davandriliogam 津留宅
Mr. Long Chit Yang 西村宅



第9次受け入れ鴨川にて



京葉高校インターアクト生徒

家族同士も親睦を

1974年 PJ 訪問

(小出、稲毛、荒井、外山、三木)

11/12 姉妹提携を締結

1977年 PJ 訪問

(荒井、切替尊、麻薙、酒枝、石丸、石川)

330 地区大会参加



PJ ロータリークラブバナー

30周年記念訪日見浜園にて茶会の経験をする家族

1978年 PJ が他10名訪日

1982年 短期学生交換計画

1983年 PJ 訪問

(海上、三木、上條、菊地、浅野、白鳥、宮間)

1985年 (7/8-7/13) PJ 訪問

(小出夫妻、菊地夫妻、海上、周郷、三木
佐藤(政)、鈴木(宏)、宮崎)

1990年 PJ・RC・夫妻15名訪日

11/30 日帰国

1992年 (5/20~6/3) PJ 訪問

(川島夫妻 加藤(利)夫妻 小泉夫妻
赤星夫妻 貴船夫妻 山田夫妻 上條夫妻
切替(尊)夫妻 小池夫妻 菊地夫妻
鶴岡 郡司佳世子 金光順子 三木暁子)

若鷲旗争奪中学校剣道大会

本プログラムは県内でも有数の規模を誇る市原市中央武道館が完成したのを記念して、県内中学生に剣道を通じて友情を深めてもらおうと、平成3年より市原市剣道連盟が主催、市原RC、市原中央RC、市原教育委員会、千葉日報社が後援として始められ13年間にわたり実施され、現在県内最大の大会に成長したものである。当クラブでは、この大会優勝旗（若鷲旗）を寄贈し、青少年の育成、友情の支援を行っている。



市原市武道館に県内中学生が集合



熱戦が繰り広げられる

過去の成績

		優勝	準優勝			優勝	準優勝
第1回	男子	南総中	緑ヶ丘中	第8回	男子	姉崎中	横芝中
	女子	五井中	富山中		女子	鋸南中	姉崎中
第2回	男子	館山三中	大原中	第9回	男子	姉崎中	房南中
	女子	風早中	富山中		女子	横芝中	湖北中
第3回	男子	大原中	千倉中	第10回	男子	加曽利中	天羽中
	女子	五井中	逆井中		女子	横芝中	房南中
第4回	男子	房南中	千種中	第11回	男子	菊間中	横芝中
	女子	逆井中	双葉中		女子	成東東中	横芝中
第5回	男子	柏南中	館山三中	第12回	男子	房南中	加曽利中
	女子	みつわ台中	館山三中		女子	房南中	桜台中
第6回	男子	五井中	鋸南中	第13回	男子	幕張本郷中	房南中
	女子	柏南部中	鋸南中		女子	増穂中	鋸南中
第7回	男子	横芝中	五井中	第14回	男子	南総中	房南中
	女子	市川七中	佐倉南部中		女子	三和中	加曽利中

市原ロータリークラブ年表

西暦(和暦)	月 日	市原ロータリークラブ	月	世界・日本・市原市
1964 昭和 39 年	6.13	五井白山閣にて創立総会 創立正会員 29 名 R I 第 358 地区所属 ガバナー 永沼政久 特別代表 本部真之(千葉RC) スポンサークラブ 千葉RC 例会場 千葉相互銀行市原支店 例会日 木曜日 P.M 12:30	1	国鉄鶴見駅事故 死者 161
			7	米国 公民権法成立
			7	中ソ対立決定的となる
			8	富士山頂レーダー完成
			10	東海道新幹線開業
			10	東京オリンピック開催
			10	ソ連 フルチョフ失脚
	6.22	R I 正式承認	11	市原ライオンズC伝達式
	9. 3	永沼政久直前ガバナー公式訪問	12	日本特殊鋼倒産
	10.29	クラブバナー作成(デザイン;古城江観会員)		
	12. 5	千葉南RC認証状伝達式に全員出席		
	12.25	歳末助け合い運動、NHK大島火災見舞金に協力		この年企業倒産増大
1965 昭和 40 年	3.27	認証状伝達式 五井中学校講堂 498 名ご参集 箏曲と尺八の合奏(出光興産邦楽部)バンド演奏 (東電音楽部スーパーサンセット) 参会者 出光興産、五井火力、旭硝子を見学	1	チャーチル死
			2	米軍ベトナム北爆開始
			6	山一證券日銀特別融資
	5. 6	五井中学校へ記念品贈呈		不況慢性化し、産業界では再編成問題活発化
	6. 3	神守源一郎(永沼直前G代行)ガバナー公式訪問		
	7.29	ボーイスカウト市原支団台湾大会参加援助資金贈呈と壮行会実施	6	日韓基本条約調印
	8.12	市原警察署に白バイ用拡声器寄贈	9	シュヴァイツァー死
	9.15	「敬老の日」養老院慰問	12	朝永振一郎 ノーベル賞
	9.30	京葉高校生に奨学金贈呈		
	10.18	千葉県下RC親善ゴルフ大会 木更津RCとホスト歳末助け合い運動に協力		
1966 昭和 41 年	1.13	南総、加茂両村の風害にお見舞い金を贈る	1	第1回赤字国債発行
	2. 3	例会場変更 千葉相互銀行市原支店から 旭硝子千葉工場見学者ハウスに変更	2	全日空機羽田沖墜落
			4	中国文化大革命起こる
	5.16	千葉県下RC親善ゴルフ大会参加		紅衛兵旋風吹荒れる
	6. 1	竹田恒徳ガバナー公式訪問	10	政界に黒い霧問題深まる
	7.28	ボーイスカウト市原支団にジャンボリー参加費贈呈		
	8.25	交通安全協会へ歩行者横断用黄旗を寄贈		プロ野球第1回ドラフト
	9.15	「敬老の日」養老院慰問		
	11.10	市原郡市中学校生徒英語大会に寄付		ビートルズ来日
	11.10	市原保健所へ陳列棚を寄贈		
	12.15	松方三郎ガバナー公式訪問		
1967 昭和 42 年	1.23	分区再編成し、市原RCは千葉第2分区に編入	4	美濃部東京都知事誕生
	7. 1	R I 第 358 地区から第 357 地区に所属変更 例会曜日 木曜日から火曜日に変更	6	第3次中東戦争起こる
			6	初の水爆実験
	7.19	地区インターアクト委員長によるPR講演 京葉高校	7	ヨーロッパ共同体(EC)発足
	8.23	交通安全協会に横断旗、交通標識を寄贈		
	8.23	ボーイスカウトに補助金を贈呈	10	南総町・加茂村を合併
	9.12	川名正義ガバナー公式訪問		
	9.15	「敬老の日」養老院を慰問		ミニスカート大流行
	9.29	京葉高校にインターアクト・クラブを結成 I.G.Fホストを務める		GNP 世界3位、日本経済高度成長に入る

市原ロータリークラブ年表

西暦(和暦)	月 日	市原ロータリークラブ	月	世界・日本・市原市
1968 昭和 43 年	7. 1 8.20 9.15 9.24 〃 10. 1 11.26	例会場変更 旭硝子千葉工場から千葉出光会館へ 交通安全協会にカーブミラーの設置、横断旗の寄贈 交通安全ステッカーを配布 「敬老の日」養老院を慰問 千葉県肢体不自由児協会に車椅子を贈呈 京葉高校生徒に奨学金を交付 ガールスカウトに設立準備金を寄贈 八幡、五井、姉崎の駅に屑簗を設置 健康管理運動を市内に展開する 廣澤輝雄ガバナー公式訪問	4 6 6 6 12	米 キング牧師暗殺 小笠原返還 陸上 100m10 秒の壁破る R.ケネディ暗殺 川端康成ノーベル賞受賞 霞ヶ関ビル完成 チェコ事件 ソ連軍侵入 コンコルド(超音速機)出現
1969 昭和 44 年	6. 7. 1 7.22 9. 9.15 11. 2 12. 5 12. 2	創立 5 周年記念式典(出光会館)を行う 毎月第 2 火曜日の例会を粗食デー 毎月第 3 火曜日を一日会長制とする インターアクト沖縄派遣壮行会を行う 京葉高校生徒に奨学金を交付 「敬老の日」養老院を慰問 インターアクト・バザーに協力 市原警察署に飲酒運転撲滅運動ポスター掲示に協力 交通事故処理車のテールランプ付器具を配布 車椅子寄贈、交通安全ステッカーを配布 移動保健所の実施、保健所と共催で診療奉仕活動を行う 森田勝彦ガバナー公式訪問 クラブ奉仕活動活発化する	5 6 7 9 12	東名高速道開通 大学紛争拡大 アポロ 11 号月面着陸 水俣病を公害病と認定 三億事件発生 いざなぎ景気 初の公害白書発行
1970 昭和 45 年	7. 1 8.11 8.20 9. 9.15 10.27 12.22	例会場変更 出光会館から姉崎ロイヤルホテルへ 第 5 例会日を午後 6 時より行う 市原市南部水害地に義援金 カーブミラーを設置 京葉高校生徒に奨学金を交付 「敬老の日」養老院を慰問 公害防止運動の一環として植樹 スコットランド G S E チーム受入 歳末助け合い運動に協力 平和園に援助金を拠出	3 3 3 5 11	日本万国博覧会(9 終る) 赤軍派よど号乗っ取り 新日本製鉄発足 日本エベレスト登頂 三島由紀夫割腹自殺事件 ジャンボジェット機就航 歩行者天国始まる
1971 昭和 46 年	1.26 7. 1 9.10 9.15 10.11 12. 20 12.20	河野秀夫ガバナー公式訪問 ボーイスカウトに援助金を寄付 酒枝次郎会員 分区代理に就任 市原 R C 定款・細則作成し、クラブの体裁整う 京葉高校生徒に奨学金を交付 「敬老の日」養老院を慰問 青山幸高ガバナー公式訪問 歳末助け合い運動に協力 平和園に援助金を拠出	2 2 7 8 8 10 12 12 12	札幌冬季オリンピック 成田空港反対闘争激化 全日空機・自衛隊機接触墜落 事故 ドルショック(ドル防衛) 変動為替相場制へ移行 中国国連加盟、台湾脱退 インド・パキスタン戦争 1 ドル 308 円 (スミソニアン体制)

市原ロータリークラブ年表

西暦(和暦)	月 日	市原ロータリークラブ	月	世界・日本・市原市
1972 昭和 47 年	3.203. 204.1 47. 1 9. 4 12.2	カーブミラーを設置 公害防止運動の一環として植樹を行う ボーイスカウトに寄付 年会費 8 万円とする 会員同士の呼称を「さん」付けに統一する 粗食デーを廃止 半田利一ガバナー公式訪問 歳末助け合い運動に協力	1 2 5 6 8 6 9	ニクソン訪中 首脳会談 連合赤軍 浅間山荘事件 沖縄復帰 沖縄県復活 市原市新市庁舎完成 ミュンヘンオリンピック アラブゲリラ乱射事件 日本列島改造論 日中国交正常化成る
1973 昭和 48 年	3. 6 7. 1 8.21 9. 4 10.13 12.15	身障者用車椅子寄贈 市役所受付に 1 台、 老人ホームに 2 台、貸し出し用に 2 台 R I 第 3 5 7 地区から第 3 4 9 地区に所属変更 藤代善次郎ガバナー公式訪問 第 3 分区合同例会「日中問題について」岡崎嘉平多 手をつなぐ会身障者補助器具贈呈 老人福祉センターに T V、放送設備等寄付 歳末助け合い運動に協力	1 2 8 10 11 11	ベトナム和平調印 円変動相場制に移行 金大中事件起こる 第 4 次中東戦争 第一次オイルショック 江崎玲於奈ノーベル賞 狂乱物価・異常インフレ 電卓出現し、ブームに
1974 昭和 49 年	3. 5 5.25 8.27 9.10 11.12 12.17	第 7 0 9 地区（アメリカ）G S E の受入 創立 1 0 周年記念式典（出光会館）大山名人講話 野口長太郎ガバナー公式訪問 マレーシア、ペタリングジャヤ R C との姉妹関係に ついてフォーラム開催 マレーシア訪問 小出、稲毛、荒井、外山、三木 ペタリングジャヤ R C と姉妹関係を締結（第 1 回訪問） 京葉高校教師と I A C 1 名をオーストラリアに派遣	2 3 8 8 11 12 12	ソルジェニーツィン追放 小野田少尉帰国 ニクソン辞任 朴大統領狙撃事件 フオード大統領来日 田中首相金脈問題で辞任 佐藤栄作ノーベル平和賞 日教組聖職論争
1975 昭和 50 年	2.10 7. 1 8. 5 10.23 11.18	市原福祉事務所に 50 万円寄付 年会費を 10 万円から 13 万円に増額 井原市長を名誉会員にする 日本赤軍について P J . R C に見舞状送る 酒枝会員のフィリピンにレントゲン車寄贈に応援 岡野正雄ガバナー公式訪問 袖ヶ浦養護学校に 40 万円寄贈	3 4 5 7 7 9 11	新幹線博多まで開通 ベトナム戦争終る エリザベス女王来日 沖縄海洋博覧会 米ソ宇宙船のドッキング 天皇.皇后、訪米 第 1 回サミット
1976 昭和 51 年	6.29 7. 1 11.17 12.14 12.24	R I 財団寄付率 600%に到達 小出善三郎会員 分区代理に就任 例会場をロイヤルホテルからポポロ 3 階に変更 赤木諫夫ガバナー公式訪問 歳末警戒警察官の労をねぎらい贈呈品を届ける I A クラブ X マスパーティに平和園児 35 名招待 京葉高校教師と I A C 1 名をオーストラリアに派遣	1 2 4 7 7 9 11	コンコルド商業飛行就航 ロッキード疑獄事件 中国 天安門事件 田中角栄ら逮捕 南北ベトナム統一国家 ミグ 25 戦闘機函館に亡命 天皇即位 5 0 年
1977 昭和 52 年	3.23 4.20 6.22 7. 1 12.24	酒枝、石丸会員パターン半島にて結核検診 ロータリー財団 1600%達成 P J . R C 訪問（第 2 回）第 330 地区大会に参加 荒井、切替（尊）、麻薙、酒枝、石丸、石川 R I 第 349 地区から第 279 地区（千葉県一区）になる 例会場をポポロから姉崎ロイヤルホテルへ変更 京葉高校教師と I A C 1 名をオーストラリアに派遣	1 6 9 9 1	米カーター大統領就任 樋口久子全米女子プロ優勝 日本赤軍日航機乗っ取る 王貞治本塁打世界記録 （国民栄誉賞） 1 ドル 250 円を割る 円高不況始まる

市原ロータリークラブ年表

西暦(和暦)	月 日	市原ロータリークラブ	月	世界・日本・市原市
1978 昭和53年	1.13	岩崎長保ガバナー公式訪問(代行 岡野正雄)	5	成田空港開港
	1.25	オーストラリア第945地区IC3名受入	5	植村直巳単独北極点到達
	3.24	PJ.Rtn ガネサン他10名来訪(第1回来訪)	6	世界大会(東京、日本)
	5.16	IC指導者講習会ホスト高校を務める 月崎荘	7	古賀政男 死
	6.25	ロータリー財団1900%に達す	8	日中平和友好条約調印
	7.1	例会曜日を火曜日から水曜日に変更	11	アラブ12ヶ国首脳会議
	10.4	鈴木憲輔ガバナー公式訪問		江川卓事件
	10.11	古城江観会員 鹿児島県高尾野町名誉町人 名誉会員		
	10.13	職業奉仕事例集を発行		
	12.10	全国防犯運動の一環として「垂れ幕」を寄贈		
	12.24	IC顧問教師と生徒2名をアメリカに派遣		
1979 昭和54年	4.18	隠れた善行者に感謝状を贈呈する	1	初の共通一次試験
	6.13	市原RC創立15周年記念家族親睦例会開催 社会福祉事務所に寄付 ニコニコボックス100万円を突破する ロータリー財団3000%達成 R財団奨学生 小柴 満君を推薦 決定する	1	グラマン・ダグラス疑獄事件 米 イラン人質救出失敗
	7.1	年会費を16万円に増額	4	東京サミット(7ヶ国)
	8.15	R I 第528地区ロスアンゼルスIC受入	6	世界大会(ローマ 伊)
	10.3	斉藤 任ガバナー公式訪問	6	東名日本坂トンネル火災
	10.24	婦人消防士4名、警察官2名に職業奉仕賞贈呈	7	韓国光州反政府暴動
	12.26	青少年指導センターへ10万円寄付	10	WHO 天然痘根絶を宣言
			10	ソ連アフガニスタン侵攻
			12	
1980 昭和55年	2.13	ロータリー財団奨学生として榊原百合子さんを推薦	6	世界大会(シカゴ 米)
	5.14	75周年記念の一環として花水木を老人ホームに植樹		ロータリー75周年
	6.4	ロータリー75周年記念行事委員会を設ける 75周年記念事業として一人1万円の寄付	7	モスクワ五輪日本不参加
	7.23	R I 第528地区へ顧問教師とICA3名派遣	9	イラン、イラク戦争
	9.10	平田博永ガバナー公式訪問	10	東大寺昭和修復終る
	9.24	榊原さんR財団奨学生に合格 81年出発		学校暴力急増
	10.15	記念事業交通安全塔設置(デザイン; 山田 守会員)		
	11.15	新バナー作製(デザイン; 小出 善三郎会員)		
	11.15	「障害児のための楽しい親子遠足」に寄付		
1981 昭和56年	1.14	青少年センターの活動基金10万円寄付	1	米 レーガン大統領就任
	7.1	年会費18万円に増額	3	神戸ポートピア開催
	7.1	齊藤 博会員 地区職業奉仕委員長に就任	12	福井謙一ノーベル化学賞
	8.18	R財団交換学生; 田中孝至君 米イリノイ州に出発		1982年
	8.26	インターアクト年次大会をホスト 鶴舞青年の家	2	岡本綾子 米ツアー優勝
	9.2	交換学生ターニャ・シュロッサー(イリノイ州)来日	2	日航機羽田沖墜落事故
	9.9	寺田欣一ガバナー公式訪問	2	ホテルニュージャパン火災
	10.7	陸上自衛隊下志津高射砲学校見学	6	東北新幹線開通
			7	中国、韓国 教科書批判
1982 昭和57年	5.26	530運動の一端として缶ジュース900缶と10万円寄贈	11	上越新幹線開通
	7.9	交換学生; ターニャ・シュロッサー帰国	11	中曽根内閣成立
	7.28	織戸勝雄ガバナー公式訪問		
	8.4	交換学生; 田中孝至君帰国		

市原ロータリークラブ年表

西暦(和暦)	月 日	市原ロータリークラブ	月	世界・日本・市原市
1983 昭和58年	1.20 3.10 5.25 6.8 7.1 9.14 10.7 11. 12.18	養護学校に寄付 環境問題のアンケート実施 530運動に協力 P.J.R.C訪問(第3回)海上、三木、上條、菊地、 浅野、白鳥、宮間(特別参加) 齊藤 博会員 分区代理に就任 小原美紀ガバナー公式訪問 第3分区初の情報研究会を実施 第279地区初の「夫人の集い」に参加 第1回 P.J.R.C 短期交換学生5名 受入 帰国59年1月16日	1 2 5 8 9 10 10 10 11	日本不沈空母化発言 青木 米ツアー優勝 日本海中部地震 アキノ暗殺事件 大韓航空機墜落事件 米軍 グレナダ侵攻 ラングーン爆発テロ 三宅島噴火 レーガン大統領来日 東京デズニーランド開園 「おしん」話題を呼ぶ
1984 昭和59年	2.1 4.11 8.6 9.5	R財団寄付4,200%に達する 創立20周年記念例会 出光会館 P.J.Rtnと家族32名 S.K.Dによるアトラクション 市原市に安全パトロール車贈呈 第2回 P.J.R.C 短期交換学生6名と顧問教師 派遣 8月26日帰国 茂木佐平治ガバナー公式訪問	3 6 9 10 11	グリコ社長誘拐事件 日本世界一の長寿国 全斗煥大統領来日 山下泰裕 国民栄誉賞 新紙幣発行(1万円札他)
1985 昭和60年	2.6 2.13 5.20 5.20 7.8 7.17 10.9 12.6 12.18	第3分区 I.G.F のホストを務める 幼児体力作り教室 上田典平さん 表彰と時計寄贈 市原学園(交通事故再教育所)に10万円寄付 530運動に10万円寄付 P.J.R.C 訪問(第4回) 10名 7/13 帰国 佐川一元ガバナー公式訪問 齊藤 博 会員 ガバナーにノミネートされる 第3回 P.J.R.C 短期交換学生6名 受入 12/27 帰国 R財団寄付5,300%となる	1 3 3 4 5 8	両国国技館復興 科学博覧会つくば85開幕 イラン・イラク戦争激化 NTT.JT 株式会社発足 男女雇用均等法成立 日航ジャンボ機墜落 エイズ蔓延 世界に拡大
1986 昭和61年	3.13 7.1 8.6 8.6 10.29	R財団寄付6,000%となる 年会費20万円に増額 第4回 P.J.R.C 短期交換学生6名、顧問教師 派遣 黒田 實ガバナー公式訪問 消防局、郵便局、ロイヤルホテル3名職業奉仕賞贈呈 ガバナー事務所、地区協、地区大会、組織等準備開始 緑化運動の一環として市原刑務所に植樹 齊藤年度ガバナー事務所開設	1 1 1 4 5 5 11 11	1986年 円相場続騰 姉崎神社 焼失 スペースシャトル爆発事故 チェルノブイリ原発事故 第12回東京サミット ダイアナ フィーバー 米ソ首脳会議決裂 伊豆大島噴火
1987 昭和62年	3.10 7.1 8.5 11.7 ～8 12.6 12.23	齊藤ガバナーエレクトに 齊藤 博ガバナー年度始まる 新クラブ結成の検討始める RI 第279地区大会 市原市市民会館 大会テーマ「拡がるふれあい生む連帯」 藤原弘達 ひろさちや 松竹歌劇団 第5回 P.J.R.C 短期交換学生7名 受入 12/20 帰国 齊藤 博ガバナー公式訪問 新クラブ結成について、会合を重ねるも賛否半々にて 結論を年明けに持ち越す	3 4 5 6 9 11 12	米 対日経済制裁措置発動 国鉄分割、JR発足 ソ連ペレストロイカ始まる 世界大会(ミュンヘン西独) 天皇 腸の手術成功 大韓航空機ビルマにて不明米 ソ核兵器全廃条約調印

市原ロータリークラブ年表

西暦(和暦)	月 日	市原ロータリークラブ	月	世界・日本・市原市
1988 昭和63年	3.2	新クラブ結成のアンケート発表 賛成、反対を上回る	3	青函トンネル鉄道開業
	3.9	アデショナルクラブ結成を決める(9回の会合を持つ)	4	瀬戸大橋開通
		市原RCより8名の会員が新クラブに移籍する	5	ソ連アフガニスタン撤退
		特別代表;小出善三郎会員 名称;市原中央RC	5	世界大会(フィラデルフィア)
	6.7	市原中央ロータリークラブ創立総会 五井グランドH	8	イラン・イラク戦争終結
	8.5	第6回PJ.RC短期交換学生5名 教師派遣 8/18 帰国	9	ソウルオリンピック
	10.26	土屋亮平ガバナー公式訪問	9	天皇ご発病
1989 平成元年	11.12	PJ.RC 訪問(第5回)8名 第330地区年次大会出席 PJ.RCを介しマレーシア脳性麻痺協会に千ドル寄付		「王賜」銘鉄剣発見
	3.22	創立25周年記念式典開催 浜野玉姫殿 記念植樹	1	昭和天皇崩御平成となる
	5.21	ソウル世界大会に参加 15名	4	消費税実施
	5.24	陸上自衛隊木更津ヘリコプター団訪問 体験搭乗	5	世界大会(ソウル 韓国) 美
	8.23	島 和弘ガバナー公式訪問	6	空ひばり死 国民栄誉賞
	11.18	第7回PJ.RC短期交換学生7名 受入 12/2 帰国	6	中国天安門の悲劇
	12.13	「静かな駅とアメニティ教育」のフォーラム開催		
1990 平成2年	4.26	IC指導者講習会をホスト 市原市民会館	2	株暴落バブル経済の終焉
	7.25	第8回PJ.RC短期交換学生6名 教師 派遣 8/7 帰国	10	ドイツ統一達成
	9.26	平塚新兵衛ガバナー公式訪問	10	ゴルバチョフ ノーベル賞
	11.23	PJ.Rtn 夫妻15名(第3回)来訪 11/30 帰国	12	姉崎神社 再建立 高滝ダム完成
1991 平成3年	3.21	千葉県中学校剣道大会主催 市原市武道会館	1	湾岸戦争
	7.1	佐藤 勇会員 分区代理 就任	6	小出善三郎市長誕生
		RI第279地区から第2790地区に変更	6	雲仙普賢岳異常噴火
	9.18	土屋秀雄ガバナー公式訪問	6	世界大会(メキシコシティ)
	10.23	例会変更 国立劇場歌舞伎観劇 美々卯にて懇親会	12	ソ連邦消滅
	11.10	第9回PJ.RC短期交換学生7名 受入 11/24 帰国		独立国家共同体創設
1992 平成4年	5.20	PJ.RC 訪問(第6回)24名(夫妻とも) 6/3 帰国	2	東京佐川急便事件
	7.27	第10回PJ.RC短期交換学生7名 派遣 8/8 帰国	4	JEF市原ホームタウンに
	8.12	南部 裕ガバナー公式訪問	5	Jリーグ開幕
	9.15	R財団長期交換学生 木嶋陽子さん合格	5	PKO 法案採決
	11.7	ゆうしゅう園看護婦 職業奉仕賞を贈呈	9	日本人初の宇宙飛行士
			10	天皇、皇后中国訪問
1993 平成5年	1.12	R財団長期交換学生カーラ・ジェンタイル受入 17歳 女性 オーストラリア タスマニア島	5	市原市政施行30周年
	1.23	東京電力刈羽・柏崎原子力発電所見学	5	世界大会(メルボルン 豪)
	3.19	長期交換学生木嶋陽子さんオーストラリアに出発	6	モービル市と姉妹都市
	4.7	初の女性会員入会	6	細川連立内閣(日本新党)
	6.11	長期交換学生カーラ・ジェンタイル 5ヶ月で帰国	6	皇太子 雅子様とご成婚
	8.11	越部平八郎ガバナー公式訪問	7	北海道南西沖地震
	11.7	PJ.Rtn 夫妻37名(第4回)来訪 11/14 帰国	7	東証株価大幅下落
	11.9	創立30周年記念祝賀会 市民会館小ホール 春日宏美とプリティガールズ 社会福祉協議会、ロータリー財 団、米山記念奨学会、PJ福祉事業に寄付	10	モスクワ流血騒乱
			10	欧州連合条約発効
	11.15	第11回PJ.RC短期交換学生7名 受入 11/28 帰国	11	エリツィン(ロシア) 来日 村山首相 国旗、国歌 容認発言

市原ロータリークラブ年表

西暦(和暦)	月 日	市原ロータリークラブ	月	世界・日本・市原市
1994 平成6年	5.8 6.1 7.28 8.10 11.15	RI 第2790 地区協議会をホストする オーストラリア長期交換学生 木嶋陽子さん帰国挨拶 第12回 PJ.RC 短期交換学生7名 派遣 8/10 帰国 大矢惣一郎ガバナー公式訪問 PJ.RC 訪問(第7回) 25名(夫妻とも) 11/21 帰国	5 6 9 10 12	ユーロトンネル開通 世界大会(台北 台湾) 関西空港開港 金日成 死 大江健三郎ノーベル賞 臨海競技場 1.5万人収容
1995 平成7年	2.15 6.7 7.19 9.29 11.10 12.12	第3分区IM ホスト 東天紅 川副千尋さんによるミニコンサート開催 有秋西小 派遣・来日学生の心得・受入家族にお願い覚書作成 石井亮太郎ガバナー公式訪問 職業奉仕委員会「政治・経済・社会」炉辺会談 第13回 PJ.RC 短期交換学生7名 受入 11/24 帰国 市原中央RC 合同例会 ソプラノ佐藤則子さん	1 1 2 3 5 6 9	世界貿易機関(WTO)発足 阪神・淡路大震災 野茂大リーグ入団 東京地下鉄サリン事件 オーム真理教 麻原逮捕 世界大会(ニース 仏) ラビン首相暗殺 館山自動車道開通
1996 平成8年	1.17 6.19 7.29 9.4 10.23 11.20 12.3	齊藤 博PGによるR情報 3週に及ぶ 「しおり」 これより毎年随時R情報講座を行う 市原高等技術専門校見学 職業奉仕委員会 「ロータリーのしおり」初版本発刊、 「ないことの美しさ」 発刊 第14回 PJ.RC 短期交換学生6名 派遣 8/12 帰国 長島洋三ガバナー公式訪問 東京電力福島第1原始力発電所見学 PJ.RC 訪問(第8回) 11名(夫妻とも) 11/24 帰国 市原中央RC 合同例会 ソプラノ佐藤則子さん	3 6 6 7 7 9 10 12	菅直人厚相 HIV患者に謝罪 住専処理法成立 世界大会(カルガリ 加) 大腸菌0157患者6,000人 秋田新幹線開通 包括的核実験禁止条約 長野新幹線開通 ペルー日本大使館人質 狂牛問題発生 官官接待批判
1997 平成9年	4.20 9.10 11.18 12.2	市原中央RC創立10周年記念祝賀会 平山金吾ガバナー公式訪問 第15回 PJ.RC 短期交換学生6名 受入 12/1 帰国 市原中央RC 合同例会 ソプラノ佐藤則子さん	4 6 7 8 11 12	消費税5%に 世界大会(グラスゴー 英) 香港 中国に返還 ダイアナ事故死 北拓銀行破綻、山一廃業 東京湾アクアライン開通
1998 平成10年	7.1 8.17 8.19 10.21 11.11	山田 守会員 地区社会奉仕委員長就任 白鳥政孝会員 地区職業奉仕委員長就任 第16回 PJ.RC 短期交換学生7名 派遣 8/26 帰国 渡邊 隆ガバナー公式訪問 PJ.Rtn 夫妻(第5回) 26名 来訪 10/25 帰国 東京電力葛野川水力発電所見学	4 4 6 7 10 11	GDP成長率マイナス 明石海峡横断橋開通 世界大会(インディアナポリス) 和歌山毒入りカレー事件 クリントン、江沢民来日 金融ビッグバン始動
1999 平成11年	1.22 4.21 7.1 10.13 10.23 10.26 11.21	35周年事業スロバキア民族舞踊団シャリシヤンを招き、一般 市民に無料公開する 好評を博す 35周年記念式典 五井グランドホテル PJ.RC を介してニ ッパ脳炎救済フアンドに101,000円 送金 齊藤 博会員 ロータリー文庫運営委員長就任 北原敬一ガバナー公式訪問 市原・市原中央・袖ヶ浦3RC 合同リクリエーション大会 東京電力青森六ヶ所村原子力処理工場見学 第16回 PJ.RC 短期交換学生7名 受入 12/4 帰国	2 6 8 9 9	クリントン性スキャンダル 世界大会(シンガポール) 国歌・国旗法成立 台湾大地震 東海村核燃料 臨界事故 コンピューター2千年問題 不況長期化 リストラ 環境問題深刻化

市原ロータリークラブ年表

西暦(和暦)	月 日	市原ロータリークラブ	月	世界・日本・市原市
2000 平成 12 年	4. 6	東電横浜火力発電所、三溪園見学	6	南北朝鮮首脳会談 平壤
	7. 1	第3分区分は第3分区分Aと第3分区分B（市原）に分割 白鳥政孝会員 分区分代理に就任	6	世界大会(プエノスアイレス)
	8.21	第18回 PJ.RC 短期交換学生 6 名 派遣 8/30 帰国	7	九州・沖縄サミット
	9.20	ロータリー情報研究会 ホストクラブ「Rの活性化」	9	三宅島噴火全島避難
	11.15	秋元秀夫ガバナー公式訪問 書庫部屋を賃貸し市原RCの図書を整理する インターネットの利用	11	イチロー野手としてMLB
			12	白川英樹ノーベル賞 生命保険会社破綻相次ぐ 銀行に公的資金の注入
2001 平成 13 年	2.14	東電福島第1原子力発電所見学	2	米英、イラク空爆
	5.26	親子サッカー教室開催 姉崎小	2	米原潜えひめ丸衝突沈没
	6.11	例会時に姉中生徒15名と親子三代の語り合い	3	堂本暁子千葉県知事に
	7. 1	小池清二会員 地区新世代のための委員長就任	4	小泉純一郎内閣成立
	11.16	第19回 PJ.RC 短期交換学生 5 名 受入 11/26 帰国	6	世界大会（サンアントニオ）
	12.12	鈴木雅博ガバナー公式訪問	9	同時多発テロ 9.11 事件
			12	東シナ海不審船発砲、沈没 イスラエル・パレスチナ激化
2002 平成 14 年	1.	齊藤博PGによるR情報講座を4日に亘り夜間行う 酒枝次郎チャーターメンバーを囲む会収録完成	1	欧州単一通貨 12ヶ国通用
	7. 1	市原ロータリークラブ ホームページ開設	5	サッカーW-Cup 日韓共催
	8.19	第20回 PJ.RC 短期交換学生 5 名 派遣 8/27 帰国	6	世界大会（バルセロナ）
	9.25	森島庸吉ガバナー公式訪問	9	小泉一金正日 首脳会談
			11	自衛艦インド洋に派遣
			12	松井秀喜NY入団
			12	小柴.田中さんノーベル賞
2003 平成 15 年	8.19	第21回 PJ.RC 短期交換学生 5 名 派遣 8/27 帰国	2	スペースシャトル爆発
	10.22	袖ヶ浦RCと合同にて常陸那珂火力発電所見学	3	米英軍 イラク攻撃開始
	11.12	栗原ガバナー補佐によるクラブ協議会	5	イラク戦争終結宣言
	12. 3	増田 裕ガバナー公式訪問 市原中央 RC と合同例会 D.L.P を容認	6	世界大会（ブリスベン豪）
			6	有事関連 3 法成立
			7	イラク復興特別支援法成立
2004 平成 16 年	2.17	岡本太郎記念美術館館長 岡本敏子様 卓話 市原中央RCと合同例会		国立大学法人化
	3.15	上総国分尼寺に山桜を植樹 40 周年記念	1	自衛隊イラク派遣 イラク、テロ続発治安悪化
	5.23	世界大会（大阪大会）に 15 名参加	5	小泉・金正日 2 度目の会談、5
	6.10	PJ.Rtn 4 名（第6回）訪問 6/16 帰国		人の子供帰国
	6.12	創立40周年記念祝賀会 ホテルニューオータニ チャーターメンバー酒枝次郎会員表彰 熊坂牧子（ソプラノ）泉谷美穂（ピアノ） 齊藤 博著「ロータリーのしおり」を発刊 市原ロータリークラブ 40 周年記念誌作成	5	世界大会（大阪 日本）
			6	小6 女子児童殺傷事件
				中国景気に沸く重厚長 大産業

市原ロータリークラブ歴代会長・幹事・ガバナー・RI 会長とテーマ

	年 度	歴代会長	歴代幹事	会員	地区名	ガバナー
初代	1964－65	宮吉 長門	小倉由太郎	29	385	神守源一郎
		チャールズW. ペッテンギル C.W. Pettengill (アメリカ) ロータリーに生きよう Let Us Live Rotary				
2 代	1965－66	宮吉 長門	伊藤 荒男	31	385	竹田 恒徳
		C.P.H.ティーンストラ C.P.H. Teenstra (オランダ) 1. 行動 Action 2. 強化 Consolidation 3. 継続性 Continuity				
3 代	1966－67	浜田 金平	関 萬夫	43	385	松方 三郎
		リチャード L.エバンス Richard L. Evans (アメリカ) ロータリーでよりよい世界を A Better World Through Rotary				
4 代	1967－68	小倉由太郎	小池 友兄	50	357	川名 正義
		ルーサーH. ホッジス Luther H. Hodges (アメリカ) ロータリアンとして Make Your Rotary Membership effective. あなたの資格を効果的に				
5 代	1968－69	切替 尊文	石福 優	57	357	廣澤 輝雄
		東ヶ崎 潔 (日本) 参加し敢行しよう！ Participate!				
6 代	1969－70	酒枝 次郎	小出善三郎	54	357	森田 勝彦
		ジェームス F. コンウェイ James F. Conway (アメリカ) 再検討し刷新しよう Review and Renew				
7 代	1970－71	関 萬男	切替 章敬	56	357	川野 秀夫
		ウィリアム E. ウォーク,Jr. William E. Walk, Jr. (アメリカ) 隔たりを取り除こう！人と人との間を between people・諸国間の between nations・人とその生活環境の between man and his environment				
8 代	1971－72	川上 一之	齊藤 博	55	357	青山 幸高
		アンスト G.ブライツホルツ Emst G. Breitholtz (スエーデン) 善意は先ずあなたから Goodwill begins with you.				
9 代	1972－73	石福 優	加賀美宝富	48	357	半田 利一
		ローイ D. ヒックマン Roy D. Hickman (アメリカ) もう一度 見直そう！ Let's Take A New Look!				
10 代	1973－74	河合 弘海	寺島 昭五	48	349	藤代善次郎
		ウィリアム C. カーター William R. Carter (アメリカ) 今こそ行動のとき a Time for Action				

市原ロータリークラブ歴代会長・幹事・ガバナー・RI 会長とテーマ

	年 度	歴代会長	歴代幹事	会員	地区名	ガバナー
11 代	1974－75	小出善三郎	稲毛 正一	49	349	野口長太郎
		ウィリアム R. ロビンス William R. Robbins (アメリカ) ロータリーの精神を振るい Renew the Spirit of Rotary おこせ				
12 代	1975－76	切替 章敬	外山 定利	57	349	岡野 正雄
		エルネスト・インバッサイ・デ・メロ Ernest Imbassay de Mello(ブラジル) 人間に威信を！ To Dignify The Human Being				
13 代	1976－77	石川 芳光	金坂 圭章	59	279	赤木 諫夫
		ロバート A.マンチェスター II Robert A. Manchester II (アメリカ) ロータリーを私は信奉する I Believe in Rotary				
14 代	1977－78	菊地 光明	麻薙 實	55	279	岩崎 長保
		W.ジャック・デービス W. Jack Davis(バミューダ) 全人類を結びつけるために Save to United Mankind 奉仕せよ				
15 代	1978－79	寺島 昭五	清水 良平	55	279	鈴木 憲輔
		クレム・レヌフ Clem Renouf (オーストラリア) 手をさし伸べよう Reach Out...				
16 代	1979－80	外山 定利	三木 敏靖	56	279	斎藤 仁
		ジェームス L.ボーマー, Jr James L. Bomar, Jr (アメリカ) 奉仕の灯で道を照らそう Let Service Light the Way				
17 代	1980－81	齊藤 博	山田 守	44	279	平田 博永
		ロルフ J.クラリッヒ Rolf J.V. Klarich (フィンランド) 時間を捧げよう奉仕のために Take Time to Serve				
18 代	1981－82	麻薙 實	上條 優雄	52	279	寺田 欣一
		スタンレー E.マッキャフリー Stanley E. McCaffrey (アメリカ) ロータリーを通じて、世界理解 World Understanding and Peace と平和を Through Rotary				
19 代	1982－83	海上 信久	大野 貢治	56	279	織戸 勝雄
		向笠 広次 (日本) 人類はひとつ、世界中に友情の Mankind is One, Build Bridges of 橋をかけよう Friendship Throughout the World				
20 代	1983－84	田丸 章	夏井 祐輔	52	279	小原 美紀
		ウィリアム E. スケルトン William E Skelton (アメリカ) みんなにロータリーを Share Rotary みんなに奉仕を Serve People				

市原ロータリークラブ歴代会長・幹事・ガバナー・RI 会長とテーマ

	年 度	歴代会長	歴代幹事	会員	地区名	ガバナー
21 代	1984－85	大西 英一	山崎 邦夫	56	279	茂木佐平治
		カルロス・カンセコ Carlos Canseco (メキシコ) 見つけよう 奉仕の新生面 Discover a New World World of Service				
22 代	1985－86	佐藤 勇	郡司 元靖	62	279	佐川 一元
		エドワードF. カドマン EdwardF.Cadman (アメリカ) あなたが鍵です You are The Key				
23 代	1986－87	三木 敏靖	鈴木 雅博	64	279	黒田 實
		M.A.T.カパラス M.A.T.Caparas (フィリッピン) ロータリーは希望をもたらす Rotary Brings Hope				
24 代	1987－88	夏井 祐輔	周郷 正	50	279	齊藤 博
		チャールスC. ケラー Charles C.Keller (アメリカ) ロータリアン－奉仕に結束－ ROTARIANS－United in Service－ 平和に献身 Dedicated to Peace				
25 代	1988－89	上條 優雄	白鳥 政孝	58	279	土屋 亮平
		ロイス・アビー Royce Abbey (オーストラリア) ロータリーに活力を－ PUT LIFE INTO ROTARY－YOUR LIFE あなたの活力を				
26 代	1989－90	山田 守	菊地 脩祐	54	279	島 和弘
		ヒューM. アーチャー Hugh M.Archer(アメリカ) ロータリーを楽しもう！ ENJOY ROTARY!				
27 代	1990－91	周郷 正	佐藤 政雄	56	279	平塚新兵衛
		パウロV.C. コスタ Paulo V.C.Costa (ブラジル) ロータリーを高めよ－ HONOR ROTARY－With Faith and 思いを尽くし 熱意を尽くし Enthusiasm				
28 代	1991－92	山崎 邦夫	川島 智	58	2790	土屋 秀雄
		ラジェンドK. サブー Rajendra K. Saboo (インド) 自分を越えた眼を Look Beyond Yourself				
29 代	1992－93	白鳥 政孝	金光 義弘	59	2790	南部 裕
		クリフォードL. ダクターマン Clifford L. Dochterman (アメリカ) まことの幸福は、人助けから Real Happiness is Helping Others				
30 代	1993－94	郡司 元靖	宮吉 正美	57	2790	越部平八郎
		ロバートR. バース Robert R. Barth (スイス) 行動に信念を…信念は行動に… BELIVE IN WHAT YOU DO				

市原ロータリークラブ歴代会長・幹事・ガバナー・RI 会長とテーマ

	年 度	歴代会長	歴代幹事	会員	地区名	ガバナー
31 代	1994－95	佐藤 政雄	南山 治	55	2970	大矢惣一郎
		ビル・ハントレー Bill Huntley (イギリス) 友達になろう Be A Friend.				
32 代	1995－96	境 善弘	始関 信夫	58	2790	石井亮太郎
		ハーバートG. ブラウン Herbert G. Brown (アメリカ) 真心の行動 Act With integrity. 慈愛の心 Serve with Love 平和に挺身 Work for Peace.				
33 代	1996－97	谷川 市蔵	小池 清二	58	2790	長島 洋三
		ルイス・ビセンテ・ジアイ Luis Visente Giay(アルゼンチン) 築け未来を－行動力と Build the Future with Action 先見の目で and Vision				
34 代	1997－98	常泉 健一	加藤 庄司	56	2790	平山 金吾
		グレンW.キンロス Glen W. Kinross (オーストラリア) ロータリーの心を Show Rotary Cares.				
35 代	1998－99	南山 治	加藤 利夫	54	2790	渡邊 隆
		ジェームス・レイシー James Lacy (アメリカ) ロータリーの夢を追い続けよう Follow Your Rotary Dream				
36 代	1999－2000	菊地 脩祐	藤野 保美	49	2790	北原 敬一
		カルロ・ラビッツァ Calro・Ravizza (イタリア) ロータリー2000：活動は－ ROTARY ACT WITH 堅実、信望、持続 Consistency, Credibility, Continuity,				
37 代	2000－01	小池 清二	時田 計代	52	2790	秋元 秀夫
		フランク J. デブリン Frank J. Devlin (メキシコ) 意識を喚起し－進んで行動を CREATE AWARENESS－Take Action.				
38 代	2001－02	赤星 健二	花澤 英昭	52	2790	鈴木 雅博
		リチャードD. キング Richard D. King (アメリカ) 人類が私たちの仕事 MANKIND IS OUR BUSINESS				
39 代	2002－03	川島 智	津留 起夫	49	2790	森島 庸吉
		ビチャイ・ラタクル Bhiohai Rattakul (タイ) 慈愛の種を播きましょう Sow the Seeds of Love				
40 代	2003－04	加藤 庄司	藤谷 泰弘	46	2790	増田 裕
		ジョナサンB. マジヤベ Jonathan B. Majiyagbe (ナイジェリア) 手を貸そう Lend a Hand				

歴代会長は語る

「ロータリー人生29年に思う」

22代会長

佐藤 勇

去る6月12日、市原R・C誕生40周年記念行事がホテルニューオオタニで、盛大に行われた。私が市原ロータリーに入会したのは1975-76年、切替章敬会長、外山定利幹事の時である。7月に入会して間もなく岡野正雄ガバナーによる公式訪問があり、元気潑刺とした若いガバナーが講評で、各委員会活動について熱っぽく意見を述べて、緊張感のあるクラブ雰囲気があった。あれから29年、毎年公式訪問が行われてきたが、今でも私の思い出に残っている。それから10年後、1985-86年度に22代会長を引き受けたが、齊藤会員のガバナーノミニーの擁立は忘れられない。58名近い会員の意見を纏めて、第3分区内の会長、幹事会を招集してもらい、市原R・Cの総意として推薦し、ガバナーノミニーの立候補者として認められた。懇親会が終わって帰り際に、千葉市の某会長から「もしこれが来週だったら、或立候補者と競争になるところだった」と囁かれたが本当に嬉しかった。貴重な仕事をさせてもらったと思っている。今は亡き周郷正会長年度の時、会長から「佐藤会員に折り入って話が有る」と云われ、「実は今年度は、順番で当クラブから第三分区代理を出すことに成っているが、その届け出まで3日しかないので、是非引き受けてくれ」と云う話であった。まさに青天の霹靂であった。固持しても認められず、ロータリーに「ノー」は無いよと押し切られてしまった。結局翌年1991-92年度土屋秀雄ガバナーの第三分区代理として、微力ながら全力を尽くしたことも忘れ難い。お陰様でその年度の分区内の会長、幹事の皆さんの温かいご支援とご協力が、10年過ぎた今日でも厚い友情の絆として、結ばれていることに感謝している。あれから亦12年が過ぎて、私のロータリー歴も29年になった。今年は創立40周年という事で、40代加藤庄司会長が立派な式典を行ったが、国分尼寺跡に記念植樹として山桜20本を植えた。その記念碑の文字を書かせて頂いた事も私の生涯の記念になる。ロータリーも今年は100周年を祝おうとしている。市原ロータリーも45、50周年へと歩み始めた。私も奉仕の精神と友情の精神をたいせつにしながら、共に生きて行きたいと思っている。

「感懐」

第23代会長

三木 敏靖

20周年記念の時「往事渺茫すべて夢に似たり。(過去のことは、ぼんやりして夢のようだ)」

など気取った書き出しをしましたが、今日、ますます、その感を深くしています。

1973年入会以来31年経ち、会長経験後17年経過「光陰矢の如し」であります。

その間人の流れも色々ありました。私の会長時の幹事だった鈴木雅博さんは2790地区ガバナーになりまして、立派に勤め上げたし、市原中央ロータリークラブ設立のため市原ロータリークラブを出た8人の侍も(残念ながら1人は物故されましたが)それぞれ磨きをかけた人生を送っておられます。ロータリークラブとは、私にとっては人と人との絡まり合い、刺激多い人生、RC様々であります。「会社の寿命は」一説に依れば「四十年」、ロータリーは100周年、「何か問題が起きない方が不思議」ぐらいに思って、他事繁忙を理由に、クラブの片隅で静かに過ごさせて頂きたいというのが、昨今の私の願いであります。最後に幽明境を異にされた、懐かしき諸先輩を偲び、ご冥福を祈りながら、感想と致します。(2004.7.7 七夕の日)

「創立40周年を迎えて」

第24代会長

夏井 祐輔

私が幹事に任命されたのは1983～1984年度（S58年度）で会長は故田丸章さん、分区代理は会員の斉藤博さんでした。おりしも20周年と言う事で斉藤さんの発案で松竹少女歌劇団を呼ぶことになりました。費用を心配する私に斉藤さんは任せておけの一言でした。会長の田丸さんは幹事一任です。当日は30数人の歌劇団員が公演とあって会場の出光会館は超満員です。時のガバナーは銚子クラブの小原美紀さんで謹厳実直を絵に描いたような人でしたが恐る恐る感想をお伺いすると大変宜しいと言うではありませんか、実はこの人は斉藤さんが大好きで何とかして早くガバナーに成ってまらいたいと私に胸中を漏らしておりましたからおかしくて仕方ありませんでした。何しろ大勢の踊り子さんがパッパッと太ももをあらわに60度も、足を上げて踊るので迫力満点です。かぶりつきで見ていた普段は謹厳なロータリアンも小原ガバナーではないが皆さんご満悦だったに違いありません。1987～1988（昭和63）年度は私が会長で故周郷 正さんが幹事でした。斉藤 博さんが全ロータリアンの輿望を担ってのガバナー就任です。そして25周年と良いこと尽くめの年度で会長を遣らせてやらせてもらったのに感謝しております。このときの記念行事にもガバナーの意向を汲んで又、斉藤さんのお陰で松竹歌劇団の一行を市原市民会館へ迎えました。盛況裡に終えたことは申すまでもありません。

ところでガバナーを出したからには子クラブを作らなければガバナーの意向に添いません。

地区幹事長は小出善三郎さんでしたが市原中央クラブを作るに当たっての世話役として特別代表に就任してもらいました。当クラブから鈴木雅博さんを頭に8人の方々が新クラブ設立準備委員となりました。諸事円満に事が運ばれたのは小出さんの人徳と手腕の賜物であります。又 PJRCとの第1回交換学生を幹事として迎えたのも懐かしく思い出されます。当時の人脈と友情を今に続けていられるのは小出さん、上條優雄さんのお陰だと思います。誌面の都合上割愛しました。

「1988/89年度の思い出」

第25代会長

上條 優雄

私が会長の年度（1988/89）は40年の歴史の中で特に多事多難な年であったような気がします。それは直前年度の夏井会長が子クラブ（市原中央RC）を誕生させ、9名の会員を新クラブに送り込んだことから、会員数が減少し、その分を新規募集せねばならなかったからです。期中の会員募集は難しいということで、夏井年度後半より会員獲得に走りしました。しかも創立当初の市原中央RCと新会員獲得で競合しないように配慮をせねばなりません。お陰で期首50名だった会員数が年度末には58名となり、その中には後に会長職をお引受いただくことになる川島・小池・始関会員といった逸材の皆様をお迎えできたことを嬉しく思っています。

また、クラブ25周年・市原市政25周年であり、市原RCも小出市長の率いる市原市も欧米並みにクォーターを盛大に祝おうということから、ペタリングジャヤRCの会員夫妻を30名ほどお呼びし、両市の友好都市提携も視野に入れながら各種催しごとを企画し、市民会館にクアラルンプール近郊の写真パネルを展示して、一般市民にもアピールしたのは思い出です。

折しもこの年度のRI国際大会は韓国ソウルであり、近隣国ということもあって20名程の参加旅行を行ったのはこの年度だけではないかと思えます。

インターアクトクラブも30名を超える大所帯で、この年はPJへ送り出しの年でしたが、人選に困りテストを行ったほどで、このようにアクティブな年度を何とか無事消化できたのは、ひとえに白鳥幹事のご活躍があったからと、今更ながら感謝しています。

「ないことの美しさ」

第26代会長

山田 守

インターネットで「ないことの美しさ」、「市原ロータリークラブ」を検索しますと「無題」、「含羞都市」、「武蔵野 RC」という3項目が出てきます。私自身が作成したものではありませんが、「文化としての音環境」という日大講堂での神津善行氏らとのシンポジウムで「ピアノ殺人事件判決理由への疑問」を提言。千葉駅から発車ベルがなくなり、「静かな駅」シンポジウムを千葉駅長他 JR 各駅長等を招いてのシンポジウムを開催したところそれがマスコミに大きく紹介され、それを見たのでしょうか(?)それが某大学の人間科学部の教材に掲載されているのです。

神経を蝕む騒音とゴミ箱をひっくり返したような汚い日本を救うには「なくてもよいもの、ない方がよいもの、なくさなければいけないもの」をなくすることである。そうすることにより、少なくとも今までと見違える程静かで美しい町が甦るはずであります。

「ないことの美しさ」はそれ以降、小生のライフワークとして機会あるごとに訴え続けることになっています。

(一度、インターネットで検索して下さい。)

「人生反省を持って旨とすべし」

第28代会長

山崎 邦夫

ポールハリスの精神を忘るるべからず、4人で職業奉仕をし、バーボンとビールで

のどを潤し、親睦を行い、明日への活力を分かち合った。近年はその精神は忘却の果てとなり、残念なること。名目のみのロータリーでありポールハリスも墓前にひざまずいて

各々特に日本国内のガバナー経験者始め分区代理経験者は胸に手を当てて反省し明日への第一歩を踏み出さなければならない。それを成さざればロータリーは壊滅の一途をたどるであろう。

「金光さんとともに」

第29代会長

白鳥政孝

世の中はバブルの拡大志向から縮小へと転換し、上杉鷹山が脚光を浴びて、「清貧の思想」が再認識された頃、才気煥発で頼もしい金光さんとペアーを組みました。

前年度を引継ぐに当たり、従来の職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕を細分化して奉仕活動をきめ細かくせよという R I の指導を額面どおりに受取り、委員会を9つも増やすよう細則を改訂してしまったが、12月には早くも元の細則に戻すという大失態をしでかしてしまった。

PJ.RC に交換学生を派遣したおり、生徒がマレーシアに到着する前日にホームステイ先のキム・テオムさんの不慮の死に出会ったこと、初めて長期交換学生をオーストラリア・タスマニア島に送り出したが、代わりに来日した交換学生のカーラ・ジェンタイル嬢(17歳)が5ヶ月で帰国したことなど、金光さんと懸命にやっていたのですが、失敗続きでありました。しかし、その失敗にもかかわらず先輩会員のロータリーらしい処理の仕方を助言して頂き、そこから多くの教訓を学び得ました。

柏崎刈羽原子力発電所見学の日でした。プチ京都といわれる新潟の綺麗所の歌舞音曲と銘酒に悪酔いもせず、酔いしれている自分に驚いたことが楽しく思い出されます。しかも会長というだけで一番の上座に座していたことですから格別だったのでしょ。

金光さんをはじめ多くのロータリアンの友情を知り、ロータリーならではの内容ある経験を積んだ一年でありました。ロータリーの神髄を少し味わい、ロータリーの良さを知り、ロータリーを楽しみ、ロータリーから沢山の恩恵を享受しました。

さらに、ロータリーにもっと興味を持とうという意欲を掻き立てられた年でもありました。

「1500回が第1回例会」

第31代会長

佐藤 政雄

私は30周年記念大会次年度で第1回例会が1500回と記念すべき例会で、創立以来連綿とロータリー精神を引き継いだ諸先輩の功績に感謝し、更なる発展を誓い乾杯での発足でした。

主な行事は

1. クラブ協議会や炉辺会談を数回開催しクラブ運営の意志疎通を図り、会員増強や出席率向上に取り組んだ。
2. 短期留学生派遣にはインターアクター5名ロータリアンの子弟2名の、7名を7月28日から8月10日までの期間派遣した。
3. 姉妹クラブ PJ.RC から地区大会ホストすると招待があり前年度の返礼をかね24名参加友好親善を図った。特記は王宮晩餐会に招待を受けたことである。
4. 第3分区インターシティーミーティングのホストクラブで2月15日東天紅にて実施した、I.Mリーダーは 島パストガバナーがテーマ「社会への思いやりに対する9495会長賞挑戦」について、240名の登録で盛会だった。

社会事情

1. バブル崩壊による経済不況、それに冷夏による稲作不良と、不安な社会だった。
2. 神戸大震災による大災害が発生、死者、負傷者3万余名、家屋崩壊11万余棟の大惨事となった、さらにオームによるサリン事件と不安が続いた。クラブ情報としてパスト会長 麻薙様、田丸様が物故者に成られました個人の功績に感謝し意思の継承を表明更なるロータリークラブの発展を誓い弔辞を奏上しました。最後に会員諸兄の友情と協力に支えられ皆様と共に接し奉仕の理想を究明し、国際奉仕、社会奉仕に参加できたことを深く感謝いたします。

「会長年度の思い出」

第32代会長

境 善弘

「次年度は貴方が会長」の、お話が有った当時は、既に千葉県全域が担当で多忙を極めていた。正直ロータリーどころではないのが実情。本社にそれとなく打診してみると、「正式に聞くな」と、素っ気ない返事。悩んだ末の会長就任であったことを思い出します。幸いにして始関幹事に巡り合え、無事一年を終え心から感謝しています。今思えばもっと「ロータリー」にどっぷりと漬かり会長職を「エンジョイ」すれば良かったと後悔しています。特に印象深く記憶に残っていることを2、3挙げるとすれば、

1. ガバナーの公式訪問（7月の第3週）に「活動計画書」を間に合わせた。

普通は地区協議会の後、会長方針に基づき幹事を中心に各委員長他、関係者が何回も協議を重ね作成されるものでそう簡単ではない。製本完成を見たときの感激は今も忘れない、皆さんの友情に感謝します。以来「前倒し作業」が当クラブの慣例になっているとか。？

2. 齊藤博 PG にお話し「ロータリーに関する卓話」を3週連続して実施して頂いた。

先生の卓越した話術と、内容の充実した素晴らしさにより、回を重ねるごとに出席率が向上していったことに感動しました。その時の小冊子が多くのロータリアンの要請に応えられ「ロータリーのしおり」の初版えと展開されたのです。

3. 臨海工業地帯の進出企業各社を入会要請のため同士会員と共に奔走した

私は1975年に入会させて頂いた。当時はそれらの会員も、かなり在籍されていました。

異業種間の情報交換と親睦、地元有力者との社交クラブとしての存在感があったように思います。私なりにその復活を夢見て活動しましたが、時代の流れか目に見える成果は上がりませんでした。今後の活躍に期待します。

市原ロータリークラブ40周年記念式典を終えて、2004.6.13 記

「出会いを深めよう」

第34代会長

常泉 健一

私の年度の会長方針は、「出会いを深めよう」でした。会員との出会いを深めずして、何の意味があるのか、と考えていましたから。私自身も年数を重ねるに従って、人間関係も深まり、年代を超えて多くの会員から、生きる喜び、生き方について刺激を受けています。この考え方は正解であったと思っています。視点を変えて、入会後の私の心の軌跡について、若干触れます。入会から会長までの8年間は、ロータリーとは何かを模索する時代でした。当時の地区職業奉仕員会は、密度の濃い活動をしていて、先達から熱のこもったロータリー論を聞き、知的興奮を覚えたことを鮮明に記憶しています。この話に刺激され、ロータリーの理念とその背景を追うことに興味をかき立てられ、関係書を読みあさりノートを作りました。このときのメモが情報委員長の時出版したロータリー「Q&A」に大いに役に立ちました。終わりに一言、会員に活動理念の自覚が希薄になると、会の衰退が始まると言われています。心して行きたいものです。

「七色の虹」

第35代会長

南山 治

この年度のRIのテーマは、“ロータリーの夢を追い続けよう”でした。旧約聖書の創生期の第9章までの“ノアの洪水の物語”から取った夢は、ロータリーの道の向こうに七色の虹として表現されていました。私は1人のロータリアンとして、私の信条である“愛の心を持って”みんな参加のロータリーをめざして、七色の虹に因んで七つの計画（目標設定）を掲げさせていただきました。

1. 例会活動の充実
2. 家族例会の多様化
3. “ロータリー夫人の会”活動への積極的支援
4. R・R・V・F を考える委員会設立
5. 35周年記念行事の成功
6. 会員増強の推進
7. P・J・RC への海外交換学生派遣協力及びロータリアン訪日の接待

以上を掲げ、実行できたと自負しています。これもひとえに全会員・夫人達のご協力によるものでありました。加藤利夫幹事の支えも多大なものがありました。感謝申し上げます。

「第36代会長としての思いで」

第36代会長

菊地 脩助

“やはり野におけれんげ草”で私の性格は一朝一夕にして直るものではありませんので
ロータリーだから会長に成れたのでありまして、大変有りがたく恐縮しております。

それでも第1回の挨拶の文章だけは、齊藤 P・G の校正を受け自信を持ってしゃべったのを覚えて
おります。後はもうマイペース生地丸出しで、歌を歌ったり、手をたたいたり、1ヶ月もする
と皆さんの顔がよく見えるようになり居眠りしている人を皮肉ったりして、非常に楽しく過ごさ
せてもらいました。又唯一の新入会員の小川氏が今日最も腹の底からの友人となったのも
ローターのお陰と感謝しております。

「問題意識を喚起し、進んで行動を」

第37代会長

小池 清二

F・J・デブリン RI 会長、秋元秀夫ガバナーの指導の下、女性会員第1号の時田幹事と次の点につい
て会務をスタートさせました。

1. ニコニコボックスのお金を一般会計から特別会計として独立。
2. 充実した例会プログラムで出席率向上。
3. 親睦を深めるための会合を多く持つ。
4. 人材確保にみんなで努力する
5. インターネットの普及、効用を計る

皆様のご協力により効果が上げられました。37年の伝統有る市原ロータリークラブの更なる発
展をさせるには、先輩の足跡を学び計画実行せねばなりません。そのため、埋没されている書類
を整理し、ホテル2階の1室を図書室として設けることが出来ました。その資料を拝見致します
と、先人が脈々と培って来た功績が伺え、感動と感謝の念を抱きます。

創立40周年記念誌が発刊され、市原 RC の新しい記録が書庫に保存されます。

21世紀の市原 RC の更なる発展に、先人の功績を参考に、進んで行動を取りましょう

第38代会長

赤星 健二

第39代会長

川島 智

就任1年前新進気鋭の津留さんに「もし会長になることが有れば幹事をお願いしたい」と要請をし
た。それはその後の全ての面において正解であったと考えている。本当にお世話に成ってしまった。
翌年が40周年という事で無理は出来ないと考え、一つか二つの JOB を完成させようと考え、
週報のウェブ化と食事の合理化をしようと考えた。食事についてはバイキング等提案したが
種々の理由により年間請負までで集結した。ウェブ化については現在でも賛否両論では有るが、
少なからずその時代であろうと思うし今後の継続に期待したい。地区に対しても意見は述べたつ
もりだが、歴史が永ければ永いほど良い面悪い面が同居しているのがロータリーと感じた。
今後は若い世代とのギャップをどんな形で埋めていくのが、時代背景も含めて、ロータリーの
最大の課題となるかも知れない。何はともあれ無事に過ごせたことに感謝の1年でありました。
末筆ながら菊地会員の例会毎のお花は本当に感謝、感謝（古く2人でPJ接待係をしたときのことを
思い起こしました）

40周年記念式典

記念式典プログラム

平成16年6月12日(土)

受付 17:30～

オープニング 「姉崎明神囃子」

司会 加藤利夫・佐川弘子

第一部 記念式典 18:00～

- | | | | |
|----------------------|--------|------------------------|-------|
| 1. 点 鐘 | 18:00～ | 会長 | 加藤庄司 |
| 2. 開式の言葉 | | 幹事 | 藤谷泰弘 |
| 3. 国歌斉唱 | | ソングリーダー | 熊坂牧子 |
| マレーシア国家斉唱 | | | |
| ロータリーソング「奉仕の理想」 | | | |
| 物故会員追悼(黙祷) 18:10～ | | | |
| 来賓並びに来訪ロータリアン紹介 | | | |
| 7. 挨拶 | 18:25～ | 市原ロータリークラブ会長 | 加藤庄司 |
| 8. 挨拶 | | 40周年記念大会委員長 | 酒枝次郎 |
| 9. 来賓祝辞 | | 国際ロータリー・クラブ第2790地区ガバナー | 増田 裕 |
| | | 市原市長 | 佐久間隆義 |
| | | スポンサークラブ・千葉ロータリークラブ会長 | 恩田恭行 |
| | | ペタリングジャ・ロータリー・クラブ代表 | |
| 10. 祝電披露 | | | |
| 11. 感謝状贈呈 | | 会長 | 加藤庄司 |
| 12. 記念講演 「ロータリーについて」 | | パストガバナー | 齊藤 博 |
| 13. 閉式の言葉 | | 会長エレクト | 始関信夫 |
| 14. 点 鐘 | | 会長 | 加藤庄司 |

休息

第二部 創立40周年メモリアルコンサート 19:15～

「ロータリーの心に愛をこめて」	ソプラノ歌手	熊坂牧子
	ピアノ演奏	泉谷美穂

第三部 祝宴

19:45～

- | | | |
|----------------------|-------------|------|
| 1. 開宴の言葉 | 国際奉仕委員長 | 藤野保美 |
| 2. 乾 杯 | 第3分区Bガバナー補佐 | 栗原賢一 |
| 3. 歓談 | | |
| 4. スライド映写 「40周年のあゆみ」 | | |
| 5. 手に手つないで | | |
| 6. 閉宴のことば | 副幹事 | 角谷 修 |

式典挨拶

市原ロータリークラブ会長

本日、ここに御来賓として第 2790 地区ガバナー増田裕様御夫妻、
市原市長佐久間隆義様、ガバナー補佐栗原賢一様、パストガバナー鈴木雅博様、スポンサークラブであります千葉ロータリークラブ



会長恩田恭行様を始めとする皆様、第 3 分区 B 各クラブの会長幹事、会員の皆様、友好クラブであります袖ヶ浦 RC 会長、幹事、役員の皆様、親子クラブであります市原中央ロータリークラブ稗田会長を始めとする全員の御出席を頂き、又、遠くマレーシアから姉妹クラブでありますペタリングジャヤ RC の会員の御出席を頂きました。そして当クラブの OB 会員の皆様、市原 RC の御家族の皆様、本当に沢山の御客様の出席を賜りまして、心から感謝と御礼を申し上げます。さて、市原ロータリークラブが創立されたのは、1964 年 6 月 13 日 29 名の会員によりクラブとして発足し、翌年 3 月 2 日に国際ロータリー加盟認証状伝達式を五井中学校体育館において行われ、千葉ロータリークラブ様にスポンサーを頂き、県下 23 番目の RC として誕生致しました。その年は東京オリンピック、東海道新幹線が開通した年、あたかも経済高度成長期でこの市原も京葉コンビナートが操業を開始し、市原が市制を施行した年でもありました。

歴代の会長を始め、多くの先輩諸兄の絶えまざる御努力により、市原の発展と共に歩み、今日まで地域社会に密着した奉仕活動を続けて参りました。特に、1987～88 年度は、我がクラブから斎藤博ガバナーを輩出して大活躍していただきました事が、当クラブの大変名誉な事で、今でも当クラブのより良き相談相手としてご活躍頂いております。そして、本日マレーシアから参加を頂きましたペタリングジャヤ RC とは、1975 年今から 29 年前に姉妹クラブの締結を行い、1983 年、丁度 20 年前からインターアクトの短期交換学生を毎年交互に受け入れております。昨年 11 月には当クラブが 7 名の学生を受け入れました。両国の青少年の健全育成と国際親善の交流に役立っているものと確信しております。この 40 周年記念式典の日を新たに、我々会員 46 名が共に一丸となって精進し、来たる 50 周年 60 周年と積み重ねて今を去る 100 年前にシカゴにおいてポールハリスが 2 名の会員と共に灯したロータリーの火を永遠に燃やし続ける事をここに御誓い申し上げまして、会長挨拶とさせていただきます。本日は誠に有難うございます。

市原ロータリークラブ
第 40 代会長（2003～2004）
加藤 庄司

式典実行委員長

酒枝 次郎



「式典挨拶から」

皆さん今晚は

大会委員長となっていますが、一番年寄りだからです。

本日は、増田ガバナーご夫妻はじめ、スポンサークラブの恩田会長
他各RCの沢山の方においで頂き有り難うございます。

丁度40周年を迎えた市原市の佐久間市長もお見えになっています、
どうも有り難うございます。

ただいま会長が色々と市原RCの足跡をお話になりましたが、市原RCが千葉RCをスポンサー
クラブとして、動き始めたのは1963年で、1年ほどかけて千葉RCの近藤マサユキ氏と言う
特別代表から色々と細かい指導を受けながら、僅か29人ギリギリで何回も何回もミーティング
を重ねて、1964年6月の創立総会に持ち込みました。

当時私は29人中2番目に若く、42才でまだ髪もありました（笑）

40年の歳月は長いもので私以外は全部亡くなってしまいました。

このような華やかな会に、29人のチャーターメンバーがいたらどんなに喜ぶかと一寸胸が熱く
なります。

当時、我々は高い思いと厚い情熱を持ち、片手にいつも設立要覧を持って、正確な原理原則に基
づいたロータリーの理念を学んできました。

そして1964年の4月6日、創立総会を五井中学校でチャーター大会をやるわけですが、その
先人達の努力の跡が今日の市原RC、市原中央RCとなっております。

現在RCはどこも同じでしょうが色々な悩み抱えて居るようです、当クラブの役員の方にお聞き
しても会員増強や経費の点などの難問を抱えています。創立当時の原理原則に基づいて、RCの
基本的理念にたって勇猛邁進して行けば必ずや新しい歴史が刻まれることと思います。

最後に、いいお話をしたいと思います、40周年の準備役員の方たちは大変忙しい思いをされて
いました。

ある時、私が慰労の気持ちで「大変なお骨折りだね」と声をかけたところ、加藤会長が「いやそ
んなことは苦になりません、私はロータリーが好きですから」と涼しい顔でお答えになりました。

私は最近にない感動を覚えました。

市原RCはまだまだ栄えることと思います

皆様のご後援とご指導をお願いいたします

有り難うございました。

来賓挨拶

第2790地区ガバナー

増田 裕 様

市原ロータリークラブの皆様におかれましては、新緑薫るこの佳き日に創立40周年記念式典が開催されますことを心からお喜び申し上げます。又県下3,300余名のロータリアンを代表致しましてお祝辞を述べる機会に恵まれましたことを光榮に存ずる次第です。貴クラブの40周年に到る活動は今さら述べるまでもなく、輝かしい歴史を踏まえた実績は県下85クラブの範とする物がたくさん御座います。ここで私は、

何と言っても貴クラブのロータリーに対する知的水準の高さと、私個人としてご厚誼を深く受けた方が大勢居られることを申し上げたいと思います。齊藤博パストガバナーは分区代理、ガバナーに就任した頃から、ロータリー哲学、ロータリー思想を主張されており、ロータリー活動、倫理活動についても解説され、若輩であった私に深い感銘を与えてくれた方であります。常泉健一会員は、2001年に「Rotary Q & A」の冊子を小池清二会長等の支援のもとに発刊され、ジャンカルビン、マックスウェーバーの二人の主張とロータリーの関係を平易に解説されました。読ませていただいた私は良くわかり夜が明けた感じが致しました。佐藤勇会員は、私がクラブ会長の時の分区代理でありましたが処々のご教示を頂きました。山田守会員の「ないことの美しさ」の講演は感性の叫びであり、又中島義道氏（電通大教授・哲学博士）との論争、論議は痛快で心を打つものがありました。その他、小出善三郎会員、山崎邦夫会員、白鳥政孝会員、三木敏靖会員の皆様から受けたご厚誼、ご指導は今でも忘れてはいません。クラブの財産は会員に依ると言うことは周知の通りであります。この様に知的水準の高い会員や確固たる信念とビジョンを持っている会員が大勢いることは私にとって畏敬の念で一杯で御座います。この財産と今までの活動の実績とを糧とされましてこれから更に飛躍され、ロータリー活動に邁進されますことを祈念してお祝いの言葉と致します。



市原市長

佐久間隆義 様



皆様本日は、誠におめでとうございます。市原市長、佐久間隆義でございます。私は昨年の 6 月、ロータリアンでありました小出善三郎市長さんの後を引き継がさせていただいて、毎日全力でやらせていただいておりますが、これからもロータリアンの皆様には是非ともご指導いただきたいと思います。本日は、国際ロータリークラブ地区ガバナー増田豁様、そしてペタリングジャヤのアルバートヤング会長さんはじめ、友好クラブの皆様が市原ロータリークラブの 40 周年のお祝いの会にご参加をいただきまして、地元の市長として、心から感謝を申し上げたいと思います。この 40 年間にわたってロータリーの皆様が、わがふるさと市原にお寄せをいただきました、さまざまな実績、そして功績はあらゆるところで輝いておりますが、ロータリーの愛というものを是非これからも市原市中に、あるいはこの国中に、あるいは世界にもっともっと広めていっていただきたい。そして私どもは行政として、その愛を行政の中で形にしていきたいと、このように考えますので、どうぞ、私にお力をお貸しいただきたいと思います。私は精一杯、今がより良くなるために、子供のために、未来のために、一生懸命頑張りたい、そのことをお約束をさせていただきたいと思います。結びに、市原ロータリークラブの 40 周年を心からお祝い申し上げ、併せて皆様のご健康でさらにご活動いただき、笑顔がもっともつとこのまちにも、この国にも増えますようにご健勝を心から祈念させていただきまして、あいさつとさせていただきます。

千葉ロータリークラブ会長

恩田 恭行 様



市原ロータリークラブの皆様、創立40周年誠におめでとう御座います。本日の祝典開催に際し、スポンサークラブを代表致しまして心よりお祝い申し上げます。市原ロータリークラブは、新クラブ拡大の気運が県下に高まり、孫クラブやその又孫クラブというように広がっていった時期に千葉南クラブに次いで千葉クラブ11番目の子クラブとして誕生致しました。貴クラブ創立時は、東京オリンピック開催を目前にして、日本全体が湧き上がるような、経済にも国民にもまさに勢いのある時代でありました。

千葉市に隣接し、当時京葉工業地帯の中心地域として産業革命的様相を呈していたこの地に於いて、農村漁村と進出してきた大型近代企業との親睦と新しい社会の発掘に、貴クラブの役割は大きく評価されたと聞いております。齊藤博ガバナー年度の1988年には市原中央クラブ創立に尽力され、今も変わらず地域の発展と共に着実な歩みを続けておられます。

創立以来数々の社会奉仕事業、国際交流を積み重ねられ、和やかな雰囲気で行われた本日の記念式典を迎えられ、会員の皆様も感慨一入、幾多の思い出に胸中を熱くされておられることと存じます。

長引く経済の低迷や不穏な国際情勢を反映し、ロータリー活動は全国的にも、難しい面が多くなってまいりました。貴地区も厳しい経済情勢の影響下にあり会員のご苦勞も想像に難くありませんが、この地に枝を広げたロータリーの樹がさらに年輪を重ねられるよう、会員同士の縁を根として、ロータリー精神を次代へと引き継いで頂きたいと存じます。

これからも会員の皆様におかれましてはロータリーへの思いを熱く持ち続け、クラブ発展にご尽力されますようご祈念申し上げます。

あわせてご出席の皆様、会員ご家族の皆様のご健勝ご隆盛をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

ペタリングジャヤロータリークラブ 会長

Message From President Albert Yong
Rotary Club Of Petaling Jaya.



Dear President Shoji Kato,

アルバート ヨン

ON behalf of the members of the Rotary Club of Petaling Jaya,I would like to extend our warmest greetings and good wishes to all your members of the Rotary Club of Ichihara on the most glorious occasion of your Club's 40th Anniversary. Congratulations to you for leading your Club in this auspicious year.

The Rotary Club of Petaling Jaya is indeed honoured to have established a strong sister-club relationship with the Rotary Club of Ichihara. This sister-club relationship still remains and is strengthening from year to year. We are honoured and pleased to be invited to your 40th Anniversary and to officially renew this fine relationship. Our Rotarians and their Anns look forward to this glittering evening that will mark and rekindle our wonderful fellowship.

My heartfelt congratulation to you and all your club members on the 40th Anniversary and wish you good health and happiness in the year to come.

We look forward to our visit.

Yours in Rotary

Albert Yong
President 2003 / 4

A handwritten signature in blue ink, appearing to read 'Albert', enclosed within a black rectangular border.

来賓者ご芳名 敬称 略

市原市市長	佐久間隆義	
ガバナー	増田 豁	令夫人恵子
ガバナー補佐	栗原 賢一	
パストガバナー	鈴木 雅博	

千葉ロータリークラブ (スポンサークラブ)

会長	恩田 恭行
会長エレクト	中村 正見
幹事	田中 智俊
会員	大成 白歩

千葉南ロータリークラブ

会長	吉田 裕成
幹事	斎藤 昌雄
会員	松尾 大邑
	鷹野 保雄

市原中央ロータリークラブ

会長	稗田 靖雄	
幹事	泉水 博史	
会員	浅野 薫之	稲葉 正己
	新井善太郎	峯岸 建次
	松田 紀明	鈴木 幸平
	佐川 皓一	高橋 啓子
	田中 正道	北島 久男
	森田 隆行	大倉 崇
	遠藤 元明	上田 伸一
	宮野 順功	子安 良夫
	諏訪 廣勝	斎藤 幸男
	武田 勲	時田 轟
	鈴木 雅博	米澤征一郎
	森 正利	池田 兼雄
	鈴木 宏祐	吉田 亮三
	谷川 安男	石井 昭
	潤間 丈助	大垣 結
	及川 喜和	斎藤 貞夫

袖ヶ浦ロータリークラブ

会長	小川 義則
幹事	鍋島 哲
会員	鈴木 洋次
	鈴木 勝江

千葉港ロータリークラブ

会長	吉田 正
幹事	坂本 庸夫
会員	山崎 喜雄
	浅沼 康男
	伊藤 雅幸
	谷崎 満男
	中島 志郎

千葉北ロータリークラブ

会長	斎藤 正明
幹事	永島 秀人
会員	君塚 宏
	岩村 潔孝
	廣瀬 富男

千葉緑ロータリークラブ

会長	石川 和利
幹事	林 哲夫
会員	野中 久義

市原ロータリーOB

金光 義弘
令夫人順子
青木 四郎
令夫人恭子
花澤 英昭

ペタシグジャロータリークラブ

David Goh

PE Tan

Goh Seng Chuan

Teo Woon Hub

市原ロータリークラブ家族

藤野 和子 深川 康子 角谷 毬子 上條 洋子

加藤 秀子 加藤 秀徳 加藤 港 加藤 初枝

小池紗英子 三木 暁子 南山 悦子 柏崎 道穂

三平 佳奈 西村 富夫 何 忠政 何 美香

小野恵美子 齋藤 泰江 境 智通子 佐藤 澄子

白鳥 信子 始関 律子 籾谷 容子 籾谷伊久美

籾谷奈央美 尾中 園子

その他

熊坂 牧子 泉谷 美穂

(流山 RC) (ピアニスト)

羽良 好子事務局

(市原 RC 事務局)

出席総数 145名

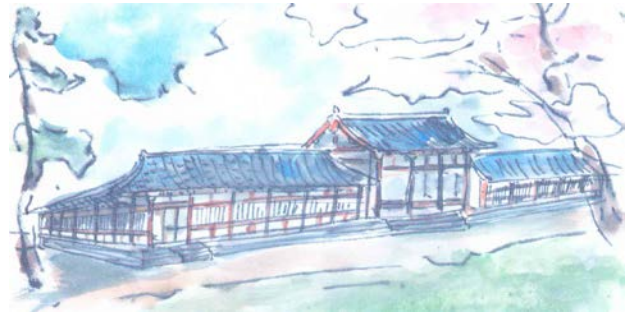
記念行事

記念事業

記念植樹

記念植樹主旨

国指定史跡「上総国分尼寺跡」は市役所に近い国分寺台中央にある。国分寺は天正13年（741年）聖武天皇の詔によって全国60箇所あまりに建立されました。敷地面積は全国有数であり、特に尼寺の寺域は全国最大であります、現在は回廊までが復元されており古くは現在の県庁と機能を果たしておりました。故郷市原の天平文化の誇り高さ遺産でもあります。40周年を記念し、ここに山桜20本と菩提樹1本を植樹し後世に残したいと考えました。この櫻が将来市民の皆さんの良い癒しとなり、市原市民の誇りになることを祈念するものです。



平成16年3月13日記念植樹背景は国分尼寺



植樹記念に出席の皆さん市長、教育長出席
記念植樹に常泉記念植樹委員長



自筆の記念石碑前で佐藤勇会員



記念式典スナップ



佐久間市長、酒枝会員、齊藤夫妻



ご出席のご婦人が一同に



最後は恒例の手に手つないで

「千葉日報に掲載されました」

千葉日報 (日刊)

2004年(平成16年)3月14日(日曜日)

市原RC 40周年を記念し植樹 国分尼寺跡に山桜8本

今年六月で創立四十周年を迎える市原ロータリークラブ(市原RC、加藤庄司会長)は十三日、市原市国分寺中央の国指定史跡・上総国分尼寺跡敷地に山桜を植樹した。

この植樹は市原RCの創立四十周年を記念するとともに、市制施行四十周年、ロータリークラブ百周年の社会奉仕事業として取り組んだ。

植樹されたのは、十二年生の山桜の成木八本。国指定史跡内に民間団体による植樹を文化庁が認める例は少ないというが、千三百年前の同寺周辺の植生と同じ山桜を選んだことで実現した。

記念式典には、同RCや市関係者など約四十人が出席。主催者を代表して加藤会長は「市原の文化遺産の地に植樹でき感無量だ。サクラを愛してもう一つ、この地の歴史を後世に伝えてもらいたいと願った」と喜びを語った。

同RCでは来月にも、さらに山桜十二本と菩提樹一本を植樹する。また、四十周年記念式典は六月十二日、千葉市内のホテルニューオータニ二幕張で開催する予定。



植樹された山桜を背に、加藤会長(右)に来賓出席の佐久間隆義市長から感謝状が贈られた

記念式典 PHOTO

市長と増田ガバナー



姉崎明神囃子の皆さん



司会進行は加藤（利）、佐川会員



綺麗どころの受付（西村、時田、佐川、羽良）



熊坂牧子さん（流山 RC）の熱唱にアンコール



PJ・RC・の皆さんと佐久間市原市長



出席者全員で記念撮影



「ロータリー運動とは」

本日はご婦人方も多数お見えでございますので、ロータリーとは、どんな考え方で、何をする団体なのか、若干ご紹介致したいと思います。ロータリー・クラブは1905年（明治38年）、子供の頃非行少年であった青年弁護士ポール・ハリスが作ったものでございまして、彼は運が悪く、両親は余りよい親ではなかった。父親は仕事も定まらなかったのも、祖父の元で育てられたようです。16世紀の中頃、スイスのジュネーブで、ジャン・カルヴィンが宗教改革の狼煙を挙げました。後にこの考え方が二つに割れます。一つはプロテスタンティズム、これはスイス・オランダ・ベルギー・フランスに拡がり、カソリックと衝突、血塗られた宗教戦争を経て、その荒廃の中から17世紀半ば、近代国民国家という制度が存在するようになります。今ひとつ、ピューリタンはイギリスに渡りイングランドに土着する。宗教的絶対正義感の中で勤勉・禁欲・儉約を旨とし、正しく生きようしました。これが清教徒気質であります。ピューリタン革命がイギリスで起こりました。1642年、イギリスのスチュアート王朝、国王は独占製作を行い議会を無視致しましたので、議会派との間に内乱が起こり、1647年議会派は国王軍を破り、国王チャールズ一世を“国家に対する公敵”として断頭台露と消す。王政をやめて共和制とし、軍事独裁体制がしかれました。時の議会側の指導者がトーマス・クロムウエル。然し革命のヒーローに病が襲いかかり、1658年9月3日彼がこの世を去りますと、ピューリタン党は母国イギリスを追われ、又国教徒との圧迫に耐えかねて、北米大陸に逃れます。ニューイングランドを開拓し、この新大陸にピューリタンの基礎を築きました。この中のウォーリングフォードという田舎町に住んでいたのがジョージ・ハリスで、ポールハリスの祖父は、ピューリタンの流れを汲む宗教家でありました。幸いにして此の地方の勤勉・禁欲・質素・思いやりの心、そういった種類の生活態度を祖父母から知らず識らずのうちに身にけたことが、ロータリー運動の根底を成す出来事となっている物と思われます。ポールハリスは1868年（明治元年）に生まれ、1886年19才の時にヴァーモンド州立大学に入学し、学生組織を作って、大学の教授会にももの申す学生運動を起こしました。そこで退学処分になり、アイオワ州立大学に入学、1891年に卒業、弁護士資格を得ましたが、五カ年間放浪の末、1896年シカゴに来て弁護士を開業、社会の中に蠢く人間の寂しさ悲しさを救うために、社交クラブを作ろう。お互いに友愛の精神を持って助け合っていったらどんなに楽しいだろう、こういう原始的な意味でのクラブ活動を考えたのでございます。彼は当時、若干36才の独身で、三人の友達石炭商のシルヴェスター・シール、洋服屋のハイラム・ジョーレイ、鉦山技師のガスターヴァス・ローア、この三人に其の考えを打ち明け、そこで1905年2月23日に“我々は職業人のクラブを作ろうよ”と言う事になりました。このとき問題になったのは、職業人クラブと言っても資本義社会ですから、皆がお互いに敵同士ではないか。どうしたら仲良く出来るだろう。そんなら一つの職業から一人ずつ会員をとろうよと言うことで「一業一会員制」と言うことになりました。3月23日には予定された会員も集まったので、ここで役員の任命・定款の作成等正式な取り決めを行い、クラブ名はお互いの事務所を順に廻って会合したことから、ロータリーと名づけられました。第一点に会員の相互扶助、第2点に親睦という2カ条をもって、ロータリー・クラブが始まったのでございます。これが世界中で最初の、シカゴ・クラブ創立の出来事なのでございます。しかしそ

の頃のアメリカは不況のどん底で、人心は荒廃して物騒な世の中であったそうで、会員の中には破産に瀕するものも出てきました。そこで、何とか確実に商売が繁盛するには何か良い方法がないだろうか考えた末、皆の胸中に浮かんだのは、商売道德の高揚と言うことでした。お互いに信頼し、そして買う人の身になって物を売る。使う人の身になって物を作る。相手の身になって職業に励みました。その結果ロータリアンの職場は皆活気を取り戻し、着々と成功者が出てきました。即ち相手の身になっての言動、**Ideal of Service** 奉仕の心は、職業の成功ばかりでなくて、よりよい社会造りとも成ったのでございます。ここにおいてロータリーは、単なる親睦団体ではなくて、奉仕の心を中心として集まった同志のチームと成ったのであります。こうして発足したロータリーですが、組織自体は奉仕をする訳ではございません。では奉仕は誰がするのか。それはクラブを構成する個々のロータリアンが奉仕するのであって、クラブ自体が奉仕することは原則として何もございません。ではクラブは何のために存在するのか、それは奉仕するロータリアンを育てる為に存在する。いわばロータリアンノ教育機関であります。此処の処が実は、ライオンズ・クラブと、根本的に違う処でありまして、有名なライオンズ・クラブのスローガンは“**NOT I SERVE, BUT WE SERVE** 私個人は奉仕しない。しかし我々団体として奉仕する。従ってライオンズ・クラブの奉仕は、全てクラブの名において奉仕を致しますから、駅前の時計塔を寄贈しても

「**ライオンズ・クラブ寄贈」という文字がでて参ります。ロータリーの場合は、ロータリアン個人が奉仕をしますから、表には出ません。纏めますと、ロータリ・クラブは寄附団体でも、慈善団体でもボランティア団体でもございません。一言で言えば、倫理を提唱してゆくことによって、道德を守る人間を作ること。そして世の為人の為に動いていこうという団体なのです。それはまさに倫理運動だと言うことが言えるのだらうと思います。何事も初一念を貫くことは大切であります。ロータリーのこの奉仕の理想、奉仕の心は次第に世界中の職業人の共鳴する所となり、現在166カ国に広められ、3万1千600クラブ、会員数121万2千人達しております。日本のロータリーは、世界の十分の一で、2千、325クラブ、会員数10万6千人余り、内女性会員3千人、当2790地区は85クラブ、3千317人、内女性会員106人。その原則は例会出席・職業分類と言う二枚のギヤーの噛み合わせにより、役員の一年交替制と言うことで、拡大運営されているのでございます。そして例会を構成するメンバーは、一業一会員制で選ばれた良質な人、要は奉仕の哲学の支配するところから従って、日常生活を律し切れる人でなければならないということも、又大前提なのでございます。こうして出来た奉仕クラブというものは、精神世界を求めるものでありますから、どうしても理念が必要になって参ります。1907年より1923年にかけて、初期のロータリアンが、ロータリーの奉仕哲学の原理的な面を開発しました。譬え時代が変わっても、このロータリーの原理は些かも変わらないのでございます。代表的なものとしては、**Service Above Self**. という標語がございまして、日本語では“超我の奉仕”と訳されております。この提唱者の一人でありますフレデリック・シェルドンの考え方を見ますと、およそ企業の本質は、私的利潤の追求にあるが、その利益高で企業経営の本質を判断しては成らない。それは一つの目安となるのみである。そこで利潤の追求のためには何をやっても良いかということ、やって良いことと悪いことがある。この成すべき事と成さざる可き事を何によって分かつかということ、自分の利益と他人の利益を調和にある。調和を図るには、一定に基準が無くてはならぬ。調和せしむる基準は、これは「天地の理法」道理にかなった法則によって、初めて自分の利益と他人の利益の調和が可能になる。この世の事というものは、我々の感覚では認識できる事の他に、考えようと考えまいとに拘わりなく、人類社会のこと、自然の運行のこと、そういうものを一切を含めて、ある種の規則性があるの

ではないか。その規則性の背後に、ある種の意志というものが働いているじゃないかという考え方でありまして、これを“天地の理法”と申すのでございます。目に見えない天地の理法の認識によって、自分の利益と他人の利益の調和が可能になる。即ち経営者は、ひたすら天地の理法に耳を傾けて、自分の利益と他人の利益の調和を考えながら商売を進めていくとき、その経営者はある程度の利潤を得て、同時に、世の為人の為になるというのでございます。然らば天地の理法は何によって認識できるかと申しますと、己自身によって認識するものでありますから、その程度によって個人差がでてまいります。良質な人、悪質な人、それぞれに天地の理法は、それなりに心に映って来る。ロータリーの例会に集う内に、自分の心を高め、自分と言うものを改善していく過程を通じて次第に自分の心の境地が高まって参りますと、天地の理法も又自らの手で、高い水準において体得できるように成るであろう。それを目指して、自己研鑽を進めて行こうとするのが奉仕の世界であり、この努力が、延いては社会のためになる暖かいエネルギーを拡げていくことが出来る。即ち奉仕とは己を高めていく、自己改善をしていくこと。これが **Service Above Self.** であるというのであります。平たく申し上げれば、ロータリアン一人一人が相手の立場に立って物を考え、他人のお役に立つような行動をしようと言う事で、自分のことばかり考えていては平和な住みよい世の中には成らない。お互いに相手の立場になって考える、思いやりの心が大事であろう。「情けは人の為ならず」と言うが、結局はそれが、自分の幸せに繋がるのだ。こういう思想が、ロータリーの精神であり、ロータリーの奉仕というのはそういう心から出る行為であります。そしてロータリー・クラブは、そのような精神を鼓舞し、そういう奉仕の道に熱意を燃やす人を育てようとする場でもあります。ロータリーが、デカルト以前の思想がもっていた雄大な神の摂理、仏の摂理の所に舞い戻って、人間の第一義、人生の第一義、そして職業の第一義を考えようとする。それを日常の例会活動を通じて、絶えず作って行こうという要素がロータリーにあるということは、大変興味深い事です。そして心を磨くその源は、会員同士の親睦から生まれます。今、いろんな親睦活動があります。旅行もする、ゴルフもする、お酒を飲み月見をする。それがロータリーの親睦と思って居る向きもありますが、しかしそうであるなら、その筋の団体もグループ活動ですから親睦がございします。ゴルフもするし酒も飲む。ではロータリーの親睦と暴力団の親睦はどこが違うかと聞かれたら何と答えるか。ロータリーの親睦というのは正に、他のロータリアンからお互いに学び合うという気持ちがあって、親睦活動をやっている。そこにロータリーの親睦の価値が有る訳であり、ここが特に大事なところであります。こうしてロータリー運動は、燎原の火のごとく世界166ヵ国に広がりました。世界中の人々が、ロータリーの親睦の精神、善意によって統一されると言うことが出来るならば、今までの忌まわしい戦争という悪因縁を断ち切ることが出来るだろう。ロータリアンが、平和建設の世論を各方面に呼びかけ、他国民に対する尊敬と、道徳的な気運を盛り上げて行く事によって、世界平和を築くべく努力して行こうではないかというのが、国際社会におけるロータリーの目的であります。私たちはそれを日常の例会活動を通して、絶えず造っていこう。そして世界平和にまで展開していこうとする小野でございします。しかし最近、国際ロータリーの考え方が、様々な具体的・直接的な社会奉仕活動に、ロータリーの組織全体を向けようとする動きが多いように思われます。本来ロータリアンノ個々の実習課題として考慮された団体奉仕活動が、ロータリーの拡大と共に次第に個人の手から離れ、組織としての活動を目的に動き始めて、本来のロータリーとかけ離れていくように思います。それはロータリーの世界理解と平和への、大切な手段かも知れませんが。しかしロータリー運動が創立期の情熱や精神的側面を忘れ、社会的地位の顕示といった、外形的側面の協調の中に進められるならば、それは運動として死であり、組織としては墮落であり

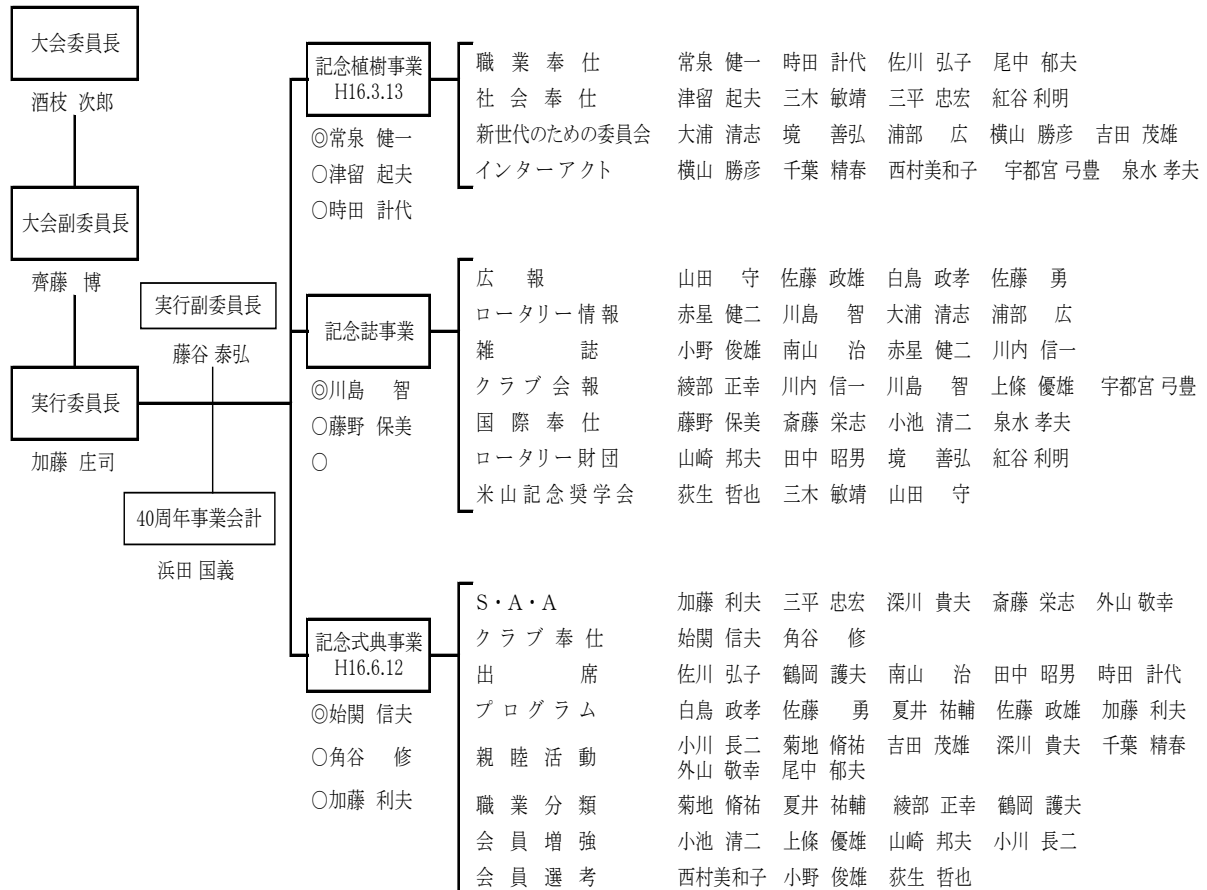
ます。又運動に参加する人口が増加すれば、その中には質の良くない者も混同され、創立期の情熱や初心が忘れられ、輝かしい伝統を担う努力と勉強に欠ける問題も出て参りました。今こそ私たちは、創立当時の先人の思考形成の神髄に思いを馳せ、運動の原点を見直しながら、その上で、外と将来に向かうロータリー運動を模索することが、今ほど必要なときは無いと考えておるところでございます。ロータリーの発生史、そして概論について足早に申し上げました。ご静聴感謝致します。

物故会員を偲ぶ

慎んでご冥福をお祈り致します

古川	善次
本多	義夫
石川	芳光
近藤	喜久司
宮吉	長門
根本	英二
時田	晋二
外山	美宝
古城	江観
麻薙	実
時田	謙祐
石福	優
田丸	章
海上	信久
大西	英一
切替	章敬
宮吉	正美
外山	定利

40周年記念委員会組織図



編集後記

創立40周年記念誌を発刊するにあたり、本来全会員の総意を反映すべきではあるが時間、予算全てに於いて制約があり限られたメンバーで編集を進めたことを、先ずはお許しを頂きたい。ともすれば華美に走る現代に於いてロータリーの創設時に回帰し初心に戻る必要有りと考えました。決して高価な記念誌ではありませんが皆の気持ちが大いに反映されるもので、あればよいと考えます。我々編集委員は来るべき50年に向けての基礎資料作りに専念することとしました。即ち40年間の歴史データーを出来る限り拾い出し今後始まるであろう50年に向けての市原ロータリーの新しい歩みの為の記録、反省としての記念誌「過去に学び新たなる出発を期する」という命題と致しました。

この記念誌を編集する課程に於いて、加藤会長以下多くの方々の協力を頂きました、衷心より感謝すると共に我が市原ロータリークラブが益々発展することをこの記念誌に託して筆を置きたいと思います。

川島 智 記

40周年記念誌委員会編集メンバー

委員長	川島 智
副委員長	藤野保美
委員	三木敏靖
	山田 守
	境 善弘
	白鳥政孝
	綾部正幸